

平成 29 年 度

佐 賀 大 学 学 生 募 集 要 項

一 般 入 試

出願期間 (前期日程及び後期日程)		平成29年 1 月23日(月)～平成29年 2 月 1 日(水)
前期日程	試 験 日	平成29年 2 月25日(土) 医学部は平成29年 2 月26日(日)まで
	合格者発表日	平成29年 3 月 7 日(火)
後期日程	試 験 日	平成29年 3 月12日(日) 医学部は平成29年 3 月13日(月)まで
	合格者発表日	平成29年 3 月22日(水)

佐 賀 大 学

目 次

I	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	募 集 要 項	
1	学部, 学科・課程等及び募集人員等	14
2	出 願 資 格	15
3	出 願 期 間	15
4	出願に必要な書類等	15
5	出 願 方 法	17
6	入 試 方 法	18
7	学部ごとの採点・評価基準, 合否判定基準	33
8	試験場, 入室時刻及び試験日程	36
9	受験にあたっての主な注意事項	38
10	障がい等を有する志願者との事前相談について	39
11	合格者の発表	39
12	入 学 手 続	39
13	授業料について	40
14	入学準備学習について	40
15	欠員の補充方法	41
16	入学許可の取消し	41
17	佐賀大学生協からのお知らせ	41
18	請求により本人に開示される個人情報	42
19	個人情報の取扱いについて	43
20	入試情報の提供	43
21	入学志願票等の記入上の注意及び記入例（前期日程用）	44
22	入学志願票等の記入上の注意及び記入例（後期日程用）	46
23	佐賀大学予約型奨学金（かささぎ奨学金）について	48
24	大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄（前期日程）	49
25	大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄（後期日程）	50
26	過去3か年の志願者等状況	51
III	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	54
IV	添 付 書 類（各日程の封筒に同封）	
	・ 検定料振込依頼書	
	・ 入学志願票・写真票・受験票・住所票・履歴書(医学部志願者用)	
	・ 入学志願票等在中封筒	
	・ 受験票等在中封筒	
	・ 写真用シール	

本学の一般入試は、全学部の学科・課程で入学定員を分割し、〔前期日程〕及び〔後期日程〕の両試験日程でそれぞれ入学者を募集し、試験を実施します。

なお、学力検査は、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験と本学が実施する個別学力検査等の組み合わせにより実施します。

〔前期日程〕と〔後期日程〕で入試方法等が異なるので、本募集要項を熟読の上、間違いのないように出願手続きを行ってください。

I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

佐賀大学の求める入学者

佐賀大学は、学生と緊密にコミュニケーションできる総合大学として、人格形成、専門知識・技術の修得、そして基礎から実用開発にいたるまで、能力を最大限に伸ばすことを目標に人材育成と研究活動を展開します。

佐賀大学の教育目標は、高度情報化社会で活躍できる情報基礎と専門知識を修得させること、地域文化を理解し地域に根ざした活動を行うための素養を持たせること、国際化時代にふさわしい異文化理解とコミュニケーション能力を修得させることです。

佐賀大学は、チャレンジ精神を持ち、問題を自発的に探求・解明し、社会に貢献できることを人生目標とする学生を求めています。

教育学部

求める学生像

教育学部では、子どもの心身の発達や学びを支える教育の充実、確かな学力の形成、小学校段階での英語教育の充実、科学的思考力の育成、ICTを利活用した教育の充実など、複雑で多様な地域の数多くの教育課題に対応できる高度な指導力を身につけた教員の養成を目指します。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

幼小連携教育コース

現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題を解決するための教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育の専門的知識を身につけ、幼児期から児童期にかけての子どもの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、心理学・教育学・幼児教育の学習や特別支援教育の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、家庭・学校・地域が抱える教育的課題や子どもたちの心身の発達、学びを支える教育について関心を持ち、幼稚園、認定こども園、小学校、または特別支援学校の教員を目指す人
- [幼小連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現できることが必要です。将来、教師として活躍するためには、教職についての意欲と関心を培い、幼児教育や初等教育、特別支援教育をめぐる諸問題に対して強い関心を持つことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、将来教師になるにあたって糧となるような何らかの実践を経験できる機会があれば積極的に挑戦することを期待します。

小中連携教育コース

小学校から中学校までの9年間を一体としてとらえて、児童生徒の学習意欲を高め、学力を向上させていくための指導法や教材について学び、充実した教育実習を各学年で行うことにより、高度な教育実践力をもった教員を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 小学校の全教科に関する学習と、中学校のいずれかの教科の学習に意欲を持って取り組める人
 - ② 幅広い基礎的学力や技能を備え、小学校から中学校への教育の接続の問題や各教科の教育について関心を持ち、小学校、中学校、小中一貫校の教員を目指す人
- [小中連携教育コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

文系、理系に偏らず、高等学校で履修する全ての教科・科目について、基礎的な知識を幅広く学習し、自分の考えを分かり易く文章や口頭で表現でき

ることが必要です。なお、技能が重要視される教科については、基礎的な量をあわせて修得しておくことが求められます。将来、小学校や中学校などの教師として活躍するためには、初等教育や中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持ち、読書などを通して自分自身で考えておくことが必要です。大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、教育に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

教育学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および国語または数学(いずれか1教科)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力または適性を有しているかを、英語および小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)」および「AO入試」の3つの入試区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文、基礎学力試験によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有し

ているかを、小論文によって評価します。さらに、明確な志望動機、佐賀県下の小学校教員を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、活動実績報告書、小論文、面接試験、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、教職を目指す強い意志、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

芸術地域デザイン学部

求める学生像

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能をもち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。各コースの目的と求める学生像は以下の通りです。

芸術表現コース

現代の様々な問題に主体的かつ積極的に取り組み、芸術を自ら創造・表現し、美術・工芸や有田セラミックの専門的知識を身につけ、マネジメントとともに共同参画することで、地域創生に貢献する人材を養成します。そのために以下のような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と芸術についての知識、また、自らの手による描写力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有する人
 - ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
 - ③ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術表現を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
 - ④ 意欲的かつ継続的な芸術の研究や自主的な芸術の活動を目指す人
 - ⑤ 将来、企業で美術に関わる仕事をする者、美術・工芸作家、造形・セラミック技術者、デザイナー、美術・工芸の販売や流通に関わる仕事、中学校・高等学校の美術教員、また、広くメディアに関わる仕事を志望する人
- 〔芸術表現コースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

芸術表現コースで学ぶにあたって大きく3つの事を意識してください。1つ目は「活力」です。芸術が果たしてきた役割を学びつつ、これからの社会とどのようにつながることが出来るかを想像してください。主体的な自己が生まれ、同時に活力を生み出す事が出来ます。2つ目は「理知」です。身の回りの現実にかかる出来事に興味を持ち、気になる事に少し立ち止まりながら知識を深めてください。様々な分野の事が複雑に関係している世界の様々な兆候を見逃さない感性が生まれ、理知へと発展します。3つ目は「発信」です。自分の好きなものや気になることを誰かに積極的に伝えてください。それは活力と理知を伴って社会への発信へ変わります。これらの事を入学前から意識することで、より有意義な大学生活が送れるはずですよ。

地域デザインコース

地域資源をデザインの手法を使ってコンテンツ化し、地域創生に貢献できる人材、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとして国内・海外の文化芸術振興に寄与できる人材、また、まちづくり、地域創生等のコーディネーターやリーダーとして地域社会に貢献できる人材を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 高等学校で習得すべき基礎的学力と発想力、また、地域社会が抱える問題についての基礎的な知識を有する人

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFLの成績、日本語作文および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力、専門科目を理解できる基礎学力および適性を含む)を有しているかを、日本留学試験と書類審査(成績証明書等)によって評価します。さらに、教育学部に対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

- ② 専門分野の内容を学習するために必要な読解力、論理的思考力、分析力、考察力などを有する人
- ③ 国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる一定の語学力を有する人
- ④ 地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力等を有する人
- ⑤ 主体的にものごとに取り組み、積極的に行動できる人
- ⑥ 意欲的かつ継続的に地域の文化芸術活動に参画する意欲のある人
- ⑦ 将来、キュレーター(学芸員)やアートコーディネーターとなることを、また、自治体・企業等で文化振興、文化財保存やまちづくり等に携わる仕事を志望する人

〔地域デザインコースで学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

本コースで問われるのは、芸術表現の技能・巧拙ではありません。地域デザインコースにおける4年間の教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学んでおくことが重要です。特に、国語、英語の基礎的な学力を有していることが求められます。これらの幅広い基礎的な学力をもとに、自分の考えを分かり易く、文章や絵、図表などを多角的に組み合わせることで口頭で表現できる企画力、発想力、表現力が必要です。将来、国内・海外の文化芸術振興、あるいはまちづくり、地域創生等に貢献できる人材となるためには、地域社会にとどまらない幅広い視野と強い関心を持つことも重要です。読書などを通して知識教養を深めるとともに、大学入学前にボランティア活動や学校内外での諸活動など、地域や社会全般に関わる何らかの実践を経験できる機会があれば、積極的に挑戦することを期待します。

入学者選抜の基本方針

芸術地域デザイン学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技術を有しているかを、各コースが指定する評価方法(総合問題、実技検査)によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、個別学力検査においては、専門科目を理解するために必要な基礎学力、適性および技術を有しているかを、各コースが指定する評価方法(学力検査、問題解決・提案力テスト、実技

検査)によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「AO入試」の2つの区分により、入学者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、推薦書によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および技能を有しているかを、ポートフォリオ、実技検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを、書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(芸術表現コース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書と適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、ポートフォリオ、適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を

有しているかを書類審査と面接試験によって評価します。

【AO入試】(地域デザインコース)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを、調査書、小論文および適性検査によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力および適性を有しているかを、小論文と適性検査によって評価します。さらに、明確な志望動機、入学後の学習意欲等を有しているかを書類審査(特色加点を含む)と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために私費外国人留学生入試を行います。本入試では、日本留学試験、TOEFL、日本語作文(地域デザインコース)および面接試験によって、入学後の学習に必要な語学力について評価します。また、大学で学習するために必要な基礎学力(汎用的な能力および専門科目を理解できる基礎学力または適性を含む)を有しているかを、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)、実技検査(芸術表現コース)によって評価します。さらに、各コースに対する明確な志望動機や入学後の学習意欲等を有しているかを、面接試験によって評価します。

経済学部

求める学生像

経済学部は、経済学・経営学・法学を柱として社会科学上の知識と教養を授け、経済や社会における課題を分析し、解決できる人材を育成することを教育の目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

経済学科

経済学科は、経済の理論と政策を学び、現代の経済と社会の仕組みについて総合的に考え、幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代に生起している問題に関心をもち、経済と社会の仕組みを理解しようとする意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経済学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

社会で生起している問題を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報をもとに自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経済学には、数学的な思考が必要な分野も含まれます。したがって、高等学校の教科書レベルの知識を習得していることが重要です。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが求められます。社会問題への関心と情報収集能力が必要です。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とした外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際政治などの理解を深めるために必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経営学科

経営学科は、企業の経営・会計を学び、企業経営について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 企業の経営や会計を学びたいという強い意欲を持つ人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経営学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

企業の経営や会計を理解するためには幅広い基礎知識が必要です。様々な知識や情報に基づいて、自分なりの考えをまとめるためには、文章の読解力だけでなく、論理的に記述する国語力が求められます。また、経営学や会計学には、高等学校の教科書レベルの数学の知識や考え方を応用する分野も含まれます。専門高等学校から進学する場合には、普通科の科目だけでなく、商業科目の基本的な知識と技能を習得しておくことが望まれます。

国際性が求められる時代においては、英語を中心とする外国語だけでなく、歴史や地理などの幅広い知識が国際経済や国際ビジネスに対する理解を深めます。一方、社会問題への関心と情報収集能力が必要です。また、経済や経営、法律に関連する社会現象に関心を向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

経済法学科

経済法学科は、経済と社会の規範である法律を学び、法政策について幅広い視野と専門知識をもつ人材を育てることを教育の目的としています。そのために、以下に示すような学生像を求めています。

- ① 現代の経済と社会の仕組みや規範について考えることに関心のある人
- ② 様々な社会現象を理解するために必要な幅広い基礎学力を有している人
- ③ 社会の変化に対応するために、生涯に亘って学習を続けることの必要性を認識し、その基盤となる幅広い知識と学修能力を大学で得たいと考えている人

[経済法学科で学ぶために必要な能力や適性及び入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み]

経済と社会の規範である法律について理解するためには幅広い基礎知識が必要です。法律の用語や内容を理解するためには国語力が不可欠です。法律を学ぶには社会と政治についての知識が必要で、そのためには、歴史や

地理などの幅広い知識は重要なものとなります。国際性が求められる現代において、英語を中心とする外国語が重要であることは言うまでもありません。

そして、経済学や経営学も含めた幅広い学修が求められるため、高等学校の教科書レベルの数学の知識が必要となります。また、社会問題への関心と情報収集能力も必要です。経済や経営、法律に関連する社会現象に関心に向け、関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自主的に調べる能力と習慣を身につけておくことは、入学後の学修にとって有益です。

入学者選抜の基本方針

経済学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての人を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解するために必要な基礎学力として、国際的な視野で情報を収集し理解するための英語力を有しているかを判断するために、個別試験によって英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、社会科学の専門知識を得るために必要な基礎学力として、文献や資料の読解力と論理的思考能力および表現力を有している

かを判断するために、個別試験の小論文によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」（「普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦」と「商業系の科、情報系の科、総合学科推薦」の2区分）により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。本学部の選考では、大学で学修するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書によって高等学校での学習達成度を評価するとともに、専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性を有しているかを判断するために小論文を課し、書類審査と口頭試問によって本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を評価します。なお、商業系の科・情報系の科・総合学科の生徒を対象にした区分では、簿記検定などの資格取得といった経済学部の勉学に関連した学習実績も評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学修するために必要な基礎学力として、日本語試験と日本語による口頭試問を行い、日本留学試験の結果と合わせて、入学後の学修に必要な語学力を持っているかを判断します。それと同時に、日本留学試験、書類審査、口頭試問によって、汎用的な学力および専門科目を学ぶために必要な基礎学力を評価します。さらに、本学部に対する明確な志望動機や入学後の学修意欲を有しているかを評価するために、書類審査と口頭試問を行います。

医 学部

求める学生像

医学部は、教育・研究・診療の三つの使命を一体として推進することによって、社会の要請に応えうる良き医療人を育成し、もって医学・看護学の発展並びに地域包括医療の向上に寄与することを基本理念とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

医学科

医の実践において、強い生命倫理観に基づくとともに広い社会的視野の下に包括的に問題をとらえ、その解決を科学的・創造的に行うような医師を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献したいと考える人
- ② 他者への思いやりを持ち、コミュニケーションを取ることができる人
- ③ 学習と医療の研鑽を努力・持続するための忍耐強さを持つ人
- ④ 医学を学ぶために必要な基礎的学力・能力を備えている人
- ⑤ 生涯を通して、医学・医療について勉学する意欲のある人

〔医学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

医学は、生命科学を中心に自然科学のあらゆる分野が密接に関連しているとともに、人間を対象とする人文・社会科学の要素が深く関わっています。そのため、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を充分理解し、それに基づく論理的な思考ができるようにしておく必要があります。さらに、大学の学習で用いる参考書等の理解、レポートの作成、グループ討論や発表に必要な国語力、英語力およびコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。また、医学への志を確かなものにするために、医学・医療をとりまく社会に目を向け、読書やボランティア活動、医療関連に携わる先輩との交流などの取組

みを通じて、自らキャリアデザインを考える積極的な姿勢が望まれます。

看護学科

高い倫理観に基づき健康についての問題を包括的にとらえ、柔軟に解決する実践能力を持った看護職者を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 人間に関心を持ち、人々の健康と福祉に貢献したいと願う人
- ② 豊かな感性と表現力を身につけている人
- ③ 相手の立場に立って、柔軟に物事を考えられる人
- ④ 看護職に夢を持ち、理想とする看護職者を目指そうとする人
- ⑤ 幅広い基礎学力と論理的な思考力を備えている人
- ⑥ 生涯を通して、看護学や医療について勉学する意欲のある人

〔看護学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

看護学は、健康な人から病をもつ人まで様々な健康レベルの人々を対象とした実践科学です。人間は身体的・精神的・社会的存在で、環境と相互作用しながら健康を維持しています。これらの健康のしくみには、自然・人文・社会科学の要素が深く関わっているため、看護学の学習のためには、高等学校で履修すべき科目を偏ることなく、幅広く習得しておくことが必要です。看護実践の基礎となる、看護の知識と専門的技術の修得には、特に、生物・化学・物理・数学の基本的事項を理解し、論理的な思考ができるようにしておく必要があります。また、看護は人間関係を通して実施されるため、文章による意思の疎通に必要な国語力や自己・他者間の理解を共有するためのコミュニケーション能力を獲得していることも重要です。大学での学習は、看護の生涯学習の基盤となるため、国内外の社会に目を向け、読書やボランティア活動などの自己啓発の取組みを通じて、自ら考える積極的な姿勢が望まれます。

入学選抜の基本方針

医学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力、明確な志望動機や入学後の意欲等、医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、学力検査(医学科)、小論文(看護学科)、面接試験および調査書によって評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、個別試験において、調査書、自己推薦書および面接試験によって評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質および経験を有し、そして本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」(看護学科)、「推薦入試Ⅱ」(医学科)、「佐賀県推薦入学」(医学科)、「帰国子女」(医学科)、「社会人」(看護学科)の5つの入試区分により、入学希望者を選考します。なお、「推薦入試Ⅱ(佐賀県枠)」と「佐賀県推薦入学」については、将来、佐賀県内の医療活動に、また「推薦入試Ⅱ(長崎県枠)」については、将来、長崎県内の医療活動に貢献したいという強い意志を持つ者を対象とします。

【推薦入試Ⅰ】(看護学科)出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、調査書と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】(医学科)出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されるこ

とを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験と調査書によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【佐賀県推薦入学】(医学科)出願要件を満たし、佐賀県から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって高等学校までの学習到達度を評価すると同時に、小論文によって、科学的あるいは論理的思考力および問題解決能力について評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】(医学科)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【社会人】(看護学科)出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査と小論文によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験(看護学科)

短期大学、専修学校及び高等学校の専攻科の課程の卒業生で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者を対象に3年次編入学試験を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、小論文と書類審査によって評価します。また、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試(医学科)

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、日本留学試験、TOEFLの成績および書類審査によって評価します。さらに、明確な志望動機や入学後の意欲等および医療従事者としての適性を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

理工学部

求める学生像

理工学部は、幅広い教養と科学・技術の専門的な素養を持ち、社会の広い分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

数理科学科

数理科学科では、数学及び数理科学の領域において、広く社会で活躍できる高度な専門知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者となる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 数学および数理科学の分野の専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
- ② 数学および数理科学の分野で、専門的知識を社会に活用できる教育者、技術者を目指す人

〔数理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

数学の概念や論理的厳密性を修得するためには、微分積分、線形代数、集合・位相といった数学の基本的な考え方や手法を身につけることが必要です。そのためには、高等学校で履修する数学の基礎的理解と応用力が不可欠です。さらに、自然科学の基本的な概念や原理・法則を理解して科学的な自然観を養っておくことは、学びの視野を広げることに繋がります。そのため、高等学校で学ぶ理科についても教科書レベルの知識を有していることが望まれます。一方、専門科目に限らず、大学では多くのレポートを書くことが一般的です。レポート作成には、文章の読解力と記述力さらには社会的な常識が必要となります。したがって、高等学校で学ぶ国語や社会の基礎的な学力は必要です。さらに、日本語文献だけでなく英語文献などもセミナー形式で学習しますので、英文の基礎的な読解力だけでなく、自分で辞書等を調べて英文を読みこなす習慣をつけておくことが必要です。

物理科学科

物理科学科では、広範な自然現象を理解する試みを通して、現代の科学技術を支える学力と、柔軟性に富んだ豊かな発想力を培い、広い分野で活

躍できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

① 理数系科目の学力に優れ、自然科学に対して強い興味を持つ人
〔物理科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

物理学における基本的な概念や法則を理解するためには、高等学校で履修する物理と数学の基本的事項の理解および計算能力だけでなく、それらの知識に基づく論理的な思考力が求められます。また、実験や観測を通して法則を見出すための洞察力も必要です。さらに、専門的な知識や考え方を修得するためには、海外の文献にも目を通すことが必要であり、高等学校の教科書レベルの英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

知能情報システム学科

知能情報システム学科では、情報科学及び情報工学の学問領域における専門知識・能力及び広い視野を持ち、知識基盤社会を担う人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 全般的な基礎学力を備え、特に数学、理科の学力を備えた人
- ② ITに対する興味と基礎知識がある人
- ③ ソフトウェア開発や情報システムの構築に取り組む意欲のある人

〔知能情報システム学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

知能情報システム学科では、ITの理論の専門基礎を重点的に教育します。そのため、高等学校で数学及び理科の基礎事項を理解し、教科書レベルの問題を解く能力を求めます。文書作成、口頭発表の能力を育成しますので、国語の学力が重要です。専門文献を読むため及び国際社会で活躍するための語学教育に必要な英語の学力も要求します。また、幅広い文化、自然、社会の素養を修得するために広範な基礎学力も必要です。本学科では、実験科目や卒業研究を通してグループの中で協調性、自主的学習能力、情報収集能力などを育成します。したがって、良識的に行動し、高い学習意欲を持ち、知識の獲得に積極的な学生の入学を望みます。

機能物質化学科

機能物質化学科では、化学を通して継続的に社会に貢献することのできる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 日頃から身の回りにある物質・材料がどのような化合物からできていて、その機能はどのような原理に基づいているのかに興味を持って調べ、自らの手で新しい機能物質を創り出すことに意欲を持つ人
- ② 化学はもちろん生物・物理・数学など理数系科目が得意で、国語・社会・英語などの基礎学力を身に付けた人

〔機能物質化学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

化学は、物質の構造や機能の関係を明らかにするために、様々な物質を詳細に調べ、新しい物質の合成や分解を行います。そのため、既存物質の特性を正確に把握し、必要な仮説と検証実験、そして得られた結果の論理的説明が求められます。このように化学を専門的に学ぶためには、高等学校で学習する化学の基本事項を十分に理解していることが必要です。また、実験等で取得したデータ解析には、計算能力や数学的思考力が求められ、物質の物理的性質や生物学的性質を理解するためには物理学や生物学の知識が必要となります。したがって、高等学校で学習する数学、物理および生物の基礎学力は、化学を専門的に理解するためには欠かせないものです。さらに、新しい知識や技術を身につけるためには、外国の文献等にも目を通す必要があり、基礎的な英文読解力が求められます。一方、専門科目に限らず大学の講義や演習では、情報の収集、文献読解およびレポートの作成など、情報収集力や文書作成能力が求められるため、高等学校で学ぶ国語や社会の基本的な知識や考え方を修得しておくことが必要です。

機械システム工学科

機械システム工学科では、機械工学及びその関連の領域において、専門的な基礎知識及びその応用力並びにものづくりの素養を身に付けた技術者となる人材を育成します。

① 理数系の基礎学力とともに倫理観を持ち、「ものづくり」に興味のある人
〔機械システム工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

機械工学は、すべてのものづくりに欠かせない技術であり、それを修得するためには、高等学校で学ぶ数学と物理および化学の基本的事項を理解し、教科書レベルの基本問題を解く能力を十分身につけておく必要があります。また、講義を理解して、レポートを作成したり、自分が調べたものを発表するためには、読解力や記述力を中心とする国語能力だけでなく、現代社会の仕組みや歴史、文化など高等学校の社会科で学ぶ一般的な知識も求められます。さらに、英文の読解や作成、外国人とのコミュニケーションなど様々な分野で将来的に活躍するためには、高等学校で学ぶ基礎的な英語力は欠かせないものです。そして、ものづくりを通じた社会への貢献に興味と熱意を持つことを期待します。

電気電子工学科

電気電子工学科では、電気工学及び電子工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① エレクトロニクスや情報通信関連のハードウェアやソフトウェアなどの「もの創り」への関心を持ち、あるいは世界的視野に立ったエネルギーや環境問題などにも興味を持った意欲のある人
- ② 高校時代においては数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけた人

〔電気電子工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

電気電子工学科に入学した学生は、日本の誇る大企業や九州の有力企業をはじめとする社会の第一線で活躍できるよう、電気電子工学に関連した様々な理数系専門科目を学びます。技術文書を正確に書く練習や、技術英語の修得も行います。そして、それらを駆使して社会に役立つものを創り出す研究活動も行います。そのため、入学時点で、数学、物理、化学などの理数系科目の基礎学力をしっかりと身につけていることが必要です。国語、英語、社会の基本的な知識を学んでいることも必要です。高校等での学習においては、教科書の範囲で解ける標準的な問題を、確実に解けるようにすることを望みます。社会で活躍できることを目指して育成しますので、もの創りへの関心や、エネルギーや環境問題等への興味が必要であり、男女を問わず意欲ある人の入学を望みます。

都市工学科

都市工学科では、都市工学の領域における専門的知識・能力を持ち、社会で活躍できる人材を育成します。

- ① 私たちの暮らしを支える社会基盤や自然環境、建築デザインなどに興味のある人
- ② 専門教育に必要な基礎学力と勉学意欲を有している人
- ③ 自律的な学習を支える責任感、チャレンジ精神とやり遂げる強い意志を持つ人

〔都市工学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校での学習の取り組み〕

都市における交通体系や水・エネルギー供給のライフライン、建築物等のさまざまな社会基盤・施設の整備と安全・安心の確保は非常に重要ですが、同時に自然環境や歴史、風土等との調和も必要です。都市工学科では、都市や地域に関する理解、形態や空間を扱うデザインも学問対象としていますので、様々な社会的事象および文化や歴史についても関心を持つことが求められます。したがって、都市工学科の志願者には、高校で学ぶ数学・物理など自然科学の基礎力、論理的思考を支える国語力、英語で書かれた文献の理解のための英語力、さらに地域の文化や歴史に目を向け得るための社会

的な基礎知識などが求められます。

入学者選抜の基本方針

理工学部の教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって数学と理科、英語の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、各学科の専門科目と特に関係の深い教科および科目について高い学力を有しているかを判断するために、個別試験によって各学科が指定する科目の学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」、「推薦入試Ⅱ」及び「帰国子女」の3つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、調査書、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【推薦入試Ⅱ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力、適性および明確な入学の意思を有しているかを判断するために、調査書と推薦書によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で

学習するために必要な基礎学力として汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験

各学科の専門分野において、さらに高度な専門教育・研究を希望する他教育機関からの学生を対象に3年次編入学試験を行います。編入学試験では、「一般入試」、「推薦入試」および「外国人留学生特別入試」の3つの区分により、入学希望者を選考します。

【一般入試】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

【推薦入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、推薦書、小論文および口頭試問によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【外国人留学生特別入試】出願要件を満たし、各所属長から推薦されることを前提とします。その上で、入学後の学習に必要な日本語の習得について判断するために、日本留学試験の成績を用いて評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、学力検査、口頭試問および成績証明書等によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。また、専門科目を理解できる基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

農学部

求める学生像

農学部は、農業及び関連する学問領域において、多様な社会的要請にこたえる幅広い素養と実行力を身に付けた人材を育成することを目的とします。各学科の目的と求める学生像は以下の通りです。

応用生物科学科

応用生物科学科では、生物の特性を理解し、生物の改良や活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 多様な動植物の生理生態的特性の解明、バイオテクノロジーを用いた有用生物資源の開発・利用、有用動植物を加害する病害虫の制御等についての理解と関心がある人
- ② 問題解決に向けて、粘り強く自己研鑽に努める熱意と実行力がある人

- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔応用生物科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者求める高等学校等での学習の取り組み〕

生物に対する興味が、生物の機能また生物が生育する環境について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識と、勉強を続けるための目的意識を持

つこと、さらに、教員、先輩、友人、留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

生物環境科学科

生物環境科学科では、3つのコースにおいて次のような人材を育成します。生物環境保全学コースでは、地球上の環境や生態系を深く理解し、これらの保全、再生及び活用を通して、社会に貢献できる人材を育成します。資源循環生産学コースでは、生物科学及び生産情報科学の理論と技術を学び、環境に配慮した食糧生産と環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。地域社会開発学コースでは、フィールドワークに基づく教育研究を通して、日本を含むアジア・太平洋諸地域における、持続可能な循環型地域社会の構築に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 自然環境、社会環境及び生物生産環境の保全と修復に興味を持つ人
- ② 持続的な農業を可能にする新たな生物生産システム及び経済社会システムの創造に意欲がある人
- ③ 本学科で学んだことを活かして社会で活躍したいという目的意識と向上心がある人

〔生物環境科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

人間を含む生物やそれを取り巻く環境及び人間社会に対する興味があり、これらを総合的に学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学の課題にはグローバルな問題が多くあり、それを解決する糸口を得るため、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が望まれます。

生命機能科学科

生命機能科学科では、科学的思考力を備え、生命科学技術の応用を通して、食と健康の分野において社会に貢献できる人材を育成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 生体における遺伝子の発現や物質代謝とそれらの調節機構を分子レベルで理解するライフサイエンス、食品の生体調節機能、栄養機能や安全性等に興味を持っている人
 - ② 将来、本学科で学んだ知識や技術を社会で活かそうと考えている人
- 〔生命機能科学科で学ぶために必要な能力や適性等および入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み〕

生命現象に対する科学的興味があり、微生物から高等生物までの生命体が持つ機能について学習するための基礎学力として、高等学校で履修する理科や数学の基本事項を理解していることが必要です。また、講義を理解し、レポート等を作成・発表するためには、様々な文献を読み、文書を作成するという国語力が必要になるだけでなく、社会の仕組みや地理・歴史、文化といった高等学校の教科書レベルの一般常識も求められます。

さらに、専門的な知識や技術を得るためには、海外の文献にも目を通す必要があるため、高等学校の教科書レベルの英語の読解力が不可欠です。農学は、実験や調査活動を自主的にかつ継続的に行なうことが重要です。また、その課題はグローバルな問題が多くあります。従って、自然科学全般に対する知識欲と、勉強を続けるための目的意識を持つこと、さらに、教員、先輩、友人また留学生等とコミュニケーションがとれる積極性が必要です。

入学選抜の基本方針

農学部教育理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と

多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。一般入試では、「前期日程」と「後期日程」の2つの入試区分により、異なる観点から入学希望者を選考します。

【前期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」と「英語」の基礎学力を評価します。

【後期日程】大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、大学入試センター試験によって、高等学校までの学習到達度を評価します。また、専門科目を深く理解するために必要な数理的な思考力・表現力に関する高い能力を有しているかを判断するために、個別試験によって、「数学」の基礎学力を評価します。

特別入試

一般入試とは異なる観点により、多様な能力や資質を有し、本学部への志望動機が明確で意欲的な入学希望者を対象に特別入試を行います。特別入試では、「推薦入試Ⅰ」と「帰国子女」の2つの入試区分により、入学希望者を選考します。

【推薦入試Ⅰ】出願要件を満たし、各高等学校長から推薦されることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(調査書、推薦書、作文等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

【帰国子女】出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、大学で学習するために必要な基礎学力として、汎用的な学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、小論文および口頭試問によって評価します。また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問と小論文によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

3年次編入学試験

短期大学及び専修学校の卒業者等で、さらに高度な専門教育・研究を希望する入学希望者学生を対象に3年次編入学試験を行います。

出願要件を満たしていることを前提とします。その上で、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、書類審査(成績証明書等)、学力検査(英語)、口頭試問および面接試験等によって評価します。また、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

私費外国人留学生入試

外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生入試を行います。本入試では、大学で学習するために必要な基礎学力として、日本留学試験、TOEFLの成績および面接試験によって入学後の学習に必要な語学力について評価すると同時に、日本留学試験、書類審査(成績証明書等)および口頭試問によって汎用的な学力を有しているかを評価します。

また、専門科目を学ぶために必要な基礎学力を有しているかを判断するために、口頭試問によって評価します。さらに、各学科に対する明確な志望動機や入学後の意欲等を有しているかを判断するために、書類審査と面接試験によって評価します。

教育学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース・専攻
知識・理解・必要・基礎学力	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
		基礎学力試験によって、外国語(英語)について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻)
		基礎学力試験によって、外国語(英語)と数学について高等学校教科書レベルの基礎学力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		日本留学試験において、文系科目または理系科目の成績を用いて、基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
	日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース	
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、5教科7科目(または6教科7科目)の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		個別学力検査において、高等学校で履修する英語の基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価するとともに、国語と数学のいずれか1教科について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力を記述式によって評価します。	一般入試(前期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		個別学力検査において、高等学校で履修する英語について、基礎的な知識だけでなく、長文読解力、論理的思考力および表現力等を有しているかを記述式によって評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
		小論文によって、問題理解力、文章構成力、論理性、表現力、知識について評価します。	一般入試(後期日程)	幼小連携教育コース 小中連携教育コース
			特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
適性検査において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
面接試験において、志望分野で学ぶために必要な基礎能力および適性について評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。		特別入試(AO入試)	小中連携教育コース	
書類審査(成績証明書等)において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース		
興味・関心・態度・意欲	志望コース・専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試(推薦入試Ⅰ)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻)
		志望理由書における志望理由を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ(佐賀県枠))	小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
		志願理由書における志願理由を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		活動実績報告書によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、志望コース・専攻で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ:佐賀県枠を含む)	幼小連携教育コース(特別支援教育専攻) 小中連携教育コース(初等教育主免専攻)
			特別入試(AO入試)	小中連携教育コース
		面接試験において、教育学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	私費外国人留学生入試	幼小連携教育コース 小中連携教育コース

芸術地域デザイン学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象コース
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		調査書によって、高等学校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（AO入試）	芸術表現コース
			特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		適性検査によって、基本的な学習能力を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース
		日本留学試験において、コースが指定した科目について基礎的な学力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
	日本語作文および面接試験において、基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試	地域デザインコース	
	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース	
	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース	
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	大学入試センター試験において、3教科3科目の国語、外国語を中心とした基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、3教科4科目（または4教科4科目）の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	芸術表現コース
		大学入試センター試験において、5教科5科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		大学入試センター試験において、4教科4科目の主要科目についての基礎学力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		総合問題によって、読解力、論理的思考力、分析力、考察力を評価します。	一般入試（前期日程）	地域デザインコース
		問題解決・提案力テストによって、企画力、発想力、表現力等を含む問題解決能力及び提案力を評価します。	一般入試（後期日程）	地域デザインコース
		実技検査によって、基本的な技術を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 私費外国人留学生入試	芸術表現コース
適性検査によって、基本的な学習能力を評価します。		特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース	
ポートフォリオによって、これまでの作品や実績、表現力を評価します。		特別入試（AO入試） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース	
小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。		特別入試（AO入試）	地域デザインコース	
書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース		
興味・関心・態度・意欲	志望コースで学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		志願理由書において、学習意欲を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
			特別入試（推薦入試Ⅰ）	芸術表現コース
		面接試験において、志望コース・分野で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（AO入試）	芸術表現コース 地域デザインコース
			私費外国人留学生入試	芸術表現コース 地域デザインコース
	特色加点申請書（申請者のみ）によって、志望領域に関するこれまでの活動実績を評価します。	特別入試（AO入試）	地域デザインコース	

経済学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試(推薦入試Ⅰ)
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		面接試験において、基礎的な日本語能力を評価します。	私費外国人留学生入試
		大学入試センター試験において、4教科5科目の主要教科についての基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力および適性	個別試験で、高校で履修する「英語」における、基礎的な英文の読解力および英語作文力を記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試(推薦入試Ⅰ)
		推薦書によって、高校時代に取得した資格を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ) ※商業系の科、情報系の科、総合学科推薦のみ
		口頭試問によって、本学部で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ) 私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、文系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試
		調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)
興味関心態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試(推薦入試Ⅰ)
		志願者本人の自筆の作文によって、志望理由、入学後の意欲等を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ)
		面接試験において、本学部で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試(推薦入試Ⅰ) 私費外国人留学生入試

医学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	評価方法	入試方法	対象学科
知識・理解・思考・判断	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
	大学入試センター試験において、5教科6科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）	看護学科
	個別試験において、高校で履修する数学、英語、物理、化学について、標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
	調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
	小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	一般入試（前期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科
		特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
	日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試	医学科
日本留学試験と面接試験において、基本的な日本語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科	
TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試	医学科	

観点	評価方法		入試方法	対象学科
興味・関心・態度・意欲	医療従事者としての適性および明確な志望動機や入学後の意欲等	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
		自己推薦書の内容について評価します。	一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）	医学科
			一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科
	推薦書において、推薦の理由を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学）	医学科	
		特別入試（推薦入試Ⅰ）	看護学科	
	面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。		一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ） 特別入試（佐賀県推薦入学） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試	医学科
			一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（社会人） 3年次編入学試験	看護学科

理工学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価する。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
		TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理、化学および英語に関する標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学、物理および化学の中から1つの科目について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、専門科目を理解できる基礎学力及び適性を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅱ）

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な基礎学力 専門科目を学ぶために必要な基礎学力	学力検査において、数学、英語、専門科目に関する標準的な知識と理解、それに基づく論理的な思考力について記述式によって評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（推薦入試Ⅱ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試

農学部で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法
知識・理解・思考・判断	大学で学ぶために必要な汎用的な学力	大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		調査書において、高校時代における学業成績、学習態度を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	特別入試（帰国子女）
		日本留学試験において、理系科目の成績を用いて評価します。	私費外国人留学生入試
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	私費外国人留学生入試
		日本留学試験において、日本語科目を用いて基本的な語学力を評価します。	私費外国人留学生入試
	専門科目を学ぶために必要な基礎学力	TOEFLの得点を用いて、基礎的な英語力を評価します。	私費外国人留学生入試
		大学入試センター試験において、5教科7科目の総合的な基礎学力を評価します。	一般入試（前期日程） 一般入試（後期日程）
		個別試験において、高校で履修する「数学」について、標準的な知識と理解、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力を記述式によって評価します。また、「英語」では、長文読解力、論理的思考力等を有しているかについて記述式によって評価します。	一般入試（前期日程）
		個別試験において、高校で履修する数学について、深い知識と理解および応用力、数理的な解析力、それに基づく論理的思考と表現力について記述式によって評価します。	一般入試（後期日程）
		小論文によって、「問題理解力」、「文章構成力」、「論理性」、「表現力」、「知識」について評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女）
		口頭試問によって、志望学科で学ぶために必要な基礎的な知識とその理解力を評価します。	特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）
		学力検査において、英語文章の読解力について評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
興味・関心・態度・意欲	志望学科で学ぶための明確な志望動機や入学後の学習意欲	書類審査（成績証明書等）において、これまでの学習状況を評価します。	3年次編入学試験（一般入試）
		調査書において、高校時代における課外活動や志望学科での学習と関連する実績等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		推薦書において、推薦の理由を参考にします。	特別入試（推薦入試Ⅰ）
		面接試験において、志望学科で学ぶ動機、意欲、積極性、一般的態度等を評価します。	特別入試（推薦入試Ⅰ） 特別入試（帰国子女） 私費外国人留学生入試 3年次編入学試験（一般入試）

II 募集要項

1 学部、学科・課程等及び募集人員等

募集人員等 学部、学科・課程等名			入学定員	募 集 人 員							備 考				
				一般入試		特 別 入 試									
				前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ (大学入試センター試験を課さない)	推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験を課す)	AO入試	佐賀県推薦入学	帰国子女		社会人			
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース	25	15	5	—	—	—	—	○初等教育主免専攻の推薦入試における募集人員5人は、佐賀県枠で募集します。 ○幼小連携教育コース（推薦入試は除きます。）は、入学後それぞれの専攻に分かれます。					
		幼小発達教育専攻 特別支援教育専攻		—	—	5	—	—	—						
	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	70	43	12	5	—	10	—		—				
		中等教育主免専攻	25	12	5	—	—	8	—		—				
小 計			120	70	22	10	—	18	—	—					
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース		55	33	12	4	—	6	—	—					
	地域デザインコース		55	25	15	—	—	15	—	—					
	小 計			110	58	27	4	—	21	—		—			
経済学部	経済学科		110	70	20	20	—	—	—	—	○一般入試は、3学科の中から順位を付けて第3志望まで志望できます。				
	経営学科		80	30	20	30	—	—	—	—					
	経済法学科		70	35	25	10	—	—	—	—					
	小 計			260	135	65	60	—	—	—		—			
医学部	医学科		106	50	10	—	*44	—	2	若干人	○医学科の推薦入試における募集人員44人は、一般枠20人、佐賀県枠23人、長崎県枠1人とします。 ○看護学科の推薦入試における募集人員20人のうち、2人以内を専門系の科及び総合学科から募集します。				
	看護学科		60	35	5	20	—	—	—	—		若干人			
	小 計			166	85	15	20	44	—	2		—			
理工学部	数理科学科		30	24	6	—	—	—	—	—	○一般入試（前期日程）は、7学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○機能物質化学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。 ○都市工学科は、入学して1年半後にそれぞれのコースに分かれます。				
	物理科学科		40	30	8	—	2	—	—	—					
	知能情報システム学科		60	45	10	2	3	—	—	—					
	機能物質化学科	物質化学コース	90	62	16	2	10	—	—	各学科若干人		—			
		機能材料化学コース													
	機械システム工学科		90	58	17	5	10						—	—	—
	電気電子工学科		90	60	22	4	4						—	—	—
	都市工学科	都市環境基盤コース	90	61	15	4	10						—	—	—
建築・都市デザインコース															
小 計			490	340	94	17	39				—		—	—	
農学部	応用生物科学科		45	25	10	10	—				—		—	—	○一般入試は、3学科の中から順位を付けて第2志望まで志望できます。 ○生物環境科学科は、入学して1年後にそれぞれのコースに分かれます。
	生物環境科学科	生物環境保全学コース	60	30	15	15	—	—	—	各学科若干人	—				
		資源循環生産学コース													
		地域社会開発学コース													
生命機能科学科		40	30	5	5	—						—	—	—	
小 計			145	85	30	30	—	—	—	—	—				
合 計			1,291	773	253	141	83	39	2	—	—				

（備考）推薦入試Ⅰ、佐賀県推薦入学特別入試及び教育学部のAO入試の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の前期日程の合格者で補充します。また、推薦入試Ⅱの医学部医学科については、一般入試の後期日程の合格者で補充します。AO入試の芸術地域デザイン学部及び推薦入試Ⅱの理工学部については、一般入試の合格者で補充します。

後期日程の募集人員には、帰国子女特別入試及び社会人特別入試の募集人員（若干人）を含みます。

* 医学科の推薦入試Ⅱ佐賀県枠には「佐賀県医師修学資金」が貸与される5人が含まれ、長崎県枠には「長崎県医学修学資金」が貸与されます。なお、詳細は推薦入試募集要項に掲載します。

2 出願資格

本学へ出願できる者は、志望する学部・学科等が指定する平成29年度大学入試センター試験の所定の教科・科目（23～32ページ参照）を受験し、かつ、次のいずれかに該当する者となります。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」といいます。）を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 同条第7号により出願を希望し、他大学において入学資格の認定を受け、本学に出願を希望する者については、平成29年1月18日(水)までに佐賀大学入試課に申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書してください。

〈参考〉学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの。

3 出願期間

平成29年1月23日(月)から平成29年2月1日(水)17時まで

出願書類は、原則として郵送により提出してください。なお、この場合、所定の封筒で「速達書留」とし、平成29年2月1日(水)17時必着とします。ただし、高等学校において取りまとめ、一括して提出する場合は持参しても構いません。(個人による持参は認めません。) この場合、土曜日及び日曜日を除き、毎日9時から17時までとします。

受験票は、平成29年2月8日(水)までに郵送します。(医学部医学科においては18ページ、6入試方法(4)参照)

4 出願に必要な書類等

(1) 入学検定料17,000円	<p>○本要項に添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。 納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を志願票の所定欄に貼り付けてください。</p> <p>○次の場合は、検定料の返還請求ができますので、必ず手続きをしてください。 返還請求にはC票が必要になりますので、大切に保管しておいてください。ただし、下記イについては、返還請求の手続き時にはC票を貼り付けた志願票を本学にて保有しているため、不要となります。</p> <p>ア 次の者は、検定料相当額を返却します。手続きについては入試課までお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none">・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった者・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった者・検定料を誤って二重に振り込んだ者 <p>イ 次の者は13,000円を返還しますので、通知と併せて送付する「検定料返還請求書」の必要事項を記入の上、手続きを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">・大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者・医学部医学科の2段階選抜における第1段階選抜の不合格者
------------------	--

(2) 入学志願票	44～47ページの記入例を参考に必要事項を自筆で記入してください。 医学科及び看護学科志願者は、卒業見込者を含めて必ず裏面の履歴書を記入してください。
(3) 写真2枚(4cm×3cm) 写真票 受験票	上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを写真票及び受験票の所定欄に貼り付けてください。
(4) 大学入試センター試験 成績請求票	大学入試センターから交付されている「 ㊦ 平成29センター試験成績請求票国公立前期日程用 」又は「 ㊧ 平成29センター試験成績請求票国公立後期日程用 」を志願票の所定欄に貼り付けてください。 (再発行を受けた場合は、再発行の方を使用してください。)
(5) 調査書	<p>① 高等学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者は、出身学校において文部科学省の定めた様式により作成した調査書を提出してください。</p> <p>② 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含みます。）は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目の一部を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。</p> <p>④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国におけるバカロレア資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者は、成績証明書をもって調査書に代えることができます。ただし、高等学校に在学したことがある者は、調査書も併せて提出してください。</p>
(6) 受験票等送付用封筒	受験票を送付しますので、本学所定の封筒（受験票等在中封筒）の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記の上、 372円分の切手 を貼り付けてください。

(1) 調査書の記入について

1. 志願者の学習成績概評がAに属する者のうち、人物、学力ともに優秀で高等学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄に㊦と標示してください。この場合は、㊦と標示した理由を備考欄に必ず記入してください。
2. 「中等教育学校並びに併設型中学校及び併設型高等学校の教育課程の基準の特例を定める件」により中学時に修得した科目がある場合は、単位数および評定を備考欄に記入してください。
3. 廃校・被災その他の事情により出身高等学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。また、志願者が被災等により上記書類も整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

(2) 東日本大震災又は熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

- (ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合
- (イ) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (ウ) 熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

事前に学務部入試課に連絡し、該当すると判断された者は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

3. 申請書類

- (ア) 「入学検定料免除申請書」
本学ホームページ「入試案内、募集要項等ダウンロード」からダウンロードできます。
- (イ) 「り災証明書（写し可）」（上記1. (ア)の①又は(ウ)の①に該当する者）
- (ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」（上記1. (ア)の②又は(ウ)の②に該当する者）
- (エ) 「被災証明書（写し可）」（上記1. (イ)に該当する者）

5 出願方法

- (1) 出願書類等は、本学所定の「出願用封筒」に入れ、「速達書留」とし、出願期間内に原則として郵送により佐賀大学入試課あて、提出してください。
- (2) 高等学校において取りまとめ、持参する場合も、本学所定の封筒に入れて提出してください。
- (3) 出願に際しては、次の事項について十分留意してください。
 - ア 志願者は、各大学が行う個別学力検査について、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部に出願することができます。
なお、本学の「前期日程」の学部と「後期日程」の学部は併願することができます。
 - イ 国公立大学・学部の推薦入試の合格者は、当該推薦入試を実施する大学・学部の定める手続きにより平成29年2月15日(水)までに入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。
 - ウ 国公立大学・学部のAO入試の合格者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める手続きにより平成29年2月15日(水)までに入学の辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。
 - エ 前期日程試験に合格し、平成29年3月15日(水)までに入学手続きを行った者は、本学及び他の国公立大学が行う後期日程の試験を受験しても合格者とはなりません。
 - オ 入学志願票の記入事項及び書類等の不備のものは受理しません。
 - カ 出願書類受理後は、いかなる事情があっても住所・連絡先以外の記入事項及び書類の変更は認めません。

6 入 試 方 法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書の内容を総合的に判断し、合格者を決定します。
- (2) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、本学において行う個別学力検査等、その他の能力及び適性等に関する検査は、23～32ページのとおりとします。

なお、**大学入試センター試験の受験を要する教科・科目と個別学力検査等の教科・科目等のうち一つでも受験しなかった者は、失格とします。**

- (3) 大学入試センター試験の成績は、平成29年度大学入試センター試験の成績を用います。
- (4) 2段階選抜（医学部医学科）

○前期日程

医学部医学科において、入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

○後期日程

医学部医学科において、入学志願者が募集人員の約10倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、その合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ、個別学力検査等を実施します。

※第1段階選抜の実施状況（実施の有無のみ）は、本学のホームページでお知らせします。

※第1段階選抜を実施しない場合は、志願者全員に、第1段階選抜を実施した場合は、合格者に「受験票」、「自己推薦書（後期日程のみ）」及び「受験者注意事項」等を郵送します。なお、第1段階選抜不合格者には「不合格通知」及び「検定料返還請求書」等を郵送します。同通知が前期日程は、平成29年2月15日(水)までに、後期日程は、平成29年2月22日(水)までに到着しない場合は、医学部学生課入試担当（電話0952-34-3130）にお問い合わせください。

- (5) 自己推薦書（医学部後期日程）

医学部後期日程においては「自己推薦書」が評価の対象となっております。「自己推薦書」の用紙は、「受験票」を送付する際に同封しますので、所定の期日までに提出してください。なお、**「自己推薦書」を所定の期日までに提出しなかった者は失格とし、個別学力検査等「面接試験」を受験できません。**

○教科・科目名の表記について

1. 大学入試センター試験の利用教科・科目名は、次のように略しています。

教科名		科目名			
略称	正式な教科名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国	国語	国	国語		
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B
		日A	日本史A	日B	日本史B
		地理A	地理A	地理B	地理B
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理
		政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済
数	数学	数I	数学I	数I・数A	数学I・数学A
		数II	数学II	数II・数B	数学II・数学B
		簿・会	簿記・会計	情	情報関係基礎
理	理科	物	物理	化	化学
		生	生物	地学	地学
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語
		仏	フランス語	中	中国語
		韓	韓国語		

2. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1と同様に略すほか、次のように略しています。

科目名					
略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国総	国語総合	国表	国語表現	数Ⅲ	数学Ⅲ
数A	数学A	数B	数学B	コ英I	コミュニケーション英語I
コ英II	コミュニケーション英語II	コ英III	コミュニケーション英語III	英表I	英語表現I
英表II	英語表現II	物基	物理基礎	化基	化学基礎

○平成29年度大学入試センター試験の科目選択及び得点の取扱い等について

【地歴・公民】

- (1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合の取扱いについては、「第1解答科目」の得点を採用します。

学部・学科等が指定した科目は、必ず「第1解答科目」で受験してください。

- (2) 学部・学科等が指定する科目を「第1解答科目」で受験せず、「第2解答科目」で受験した場合は、0点として取扱います。

なお、受験が認められていない同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択した際に、「第1解答科目」を学部・学科等が指定していない科目を受験し、「第2解答科目」で受験した場合は、無資格として取扱い、検定料の一部を返還します。

*参考（取扱い例）

地歴・公民の指定科目	第1解答科目 の受験科目	第2解答科目 の受験科目	得点の取扱い
世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1	世B	地理A	第1解答科目の「世B」を採用
	地理A	世B	地歴・公民の得点は0点
	世A	世B	無資格とします。

【理科】

- (1) 「基礎を付した科目」とは、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4出題科目のうちから2出題科目を選択することを表します。

- (2) 「基礎を付していない科目」とは、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」を表します。

- (3) 学部・学科等が「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から2科目と指定する場合に「物理」と「物理基礎」など、同一名称を付した科目を選択することはできません。

- (4) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点を採用します。また、「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合は、高得点を採用します。

【数学】

- (1) 学部・学科等が受験科目を1科目と指定している場合に2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。

- (2) 医学部, 理工学部, 農学部については、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

【複数教科・科目間の選択にかかる得点の取扱いについて（指定科目数を超えて受験している場合）】

複数教科間の科目採用については、高得点順とします。ただし、地歴・公民及び理科（「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」を受験した場合を除く。）においては、「第1解答科目」を優先します。

【外国語】

外国語において英語を受験した者については、リスニングを受験してください。リスニング未受験の者については、失格とします。

(大学入試センターにおいて審査の上、リスニングの免除を許可された者を除きます。)

筆記試験200点満点、リスニング50点満点を以下のとおり換算し、利用します。

学 部	日 程	筆記試験	リスニング	合 計
教育学部	前 期 後 期	160点	40点	200点
芸術地域デザイン学部	前 期 後 期	160点	40点	200点
経済学部	前 期 後 期	160点	40点	200点
医学部	前 期 後 期	112点	28点	140点
理工学部	前 期	160点	40点	200点
	後 期	120点	30点	150点
農学部	前 期 後 期	80点	20点	100点

※リスニングを免除された者については、各学部とも、筆記試験（200点満点）の得点を合計欄の点数に換算し、利用します。

○平成29年度個別学力検査等の出題範囲及び試験方法について

【数学】

出題範囲は次のとおりです。

- (1) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B の場合

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aは、全範囲から出題します。数学Bは「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

- (2) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B の場合

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは全範囲から出題します。数学Bは「数列」，「ベクトル」を出題範囲とします。

【総合問題】

文章（英文を含む）や資料（図表，写真，絵，地図など）を題材に，読解力，論理的思考力，分析力，考察力を問います。

【問題解決・提案力テスト】

地域や社会に関する課題や事象に対する解決策や提案を，文章や図表，絵などにより，解答用紙に簡潔にまとめたものについて，企画力，発想力，表現力等を含む問題解決能力及び提案力を総合的に評価します。

試験時には鉛筆（シャープペンシルを含みます。），消しゴム，コンパス，三角定規，直線定規を持参してください。これら以外の筆記用具は大学で用意します。

○芸術地域デザイン学部の実技検査の選択方法と持参道具について

芸術表現コース（前期日程）

出願時に「センター試験3科目型」を選択した受験者には実技検査（描写表現）, 「センター試験4科目型」を選択した受験者には実技検査（発想表現）を課します。実技検査（描写表現）では, (1)~(3)のいずれかを出願時に選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

- (1) 木炭による石膏デッサン
- (2) 鉛筆による石膏デッサン
- (3) 水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

発想・企画プレゼンテーション

芸術表現コース（後期日程）

出願時に(1)~(4)のいずれかを選択します。出願後の変更はできません。

実技検査（描写表現）

- (1) 木炭による石膏デッサン
- (2) 鉛筆による石膏デッサン
- (3) 水彩による静物着彩

実技検査（発想表現）

- (4) 発想・企画プレゼンテーション

試験時には以下のものを持参してください。

◇木炭による石膏デッサン

木炭, 消し具（パン, 消しゴム, 練りゴム）, ガーゼ, 定着液等, 木炭デッサンに必要な描画道具一式。なお, 木炭紙, イーゼル, カルトンは大学で用意します。

◇鉛筆による石膏デッサン

鉛筆, 消し具（消しゴム, 練りゴム）, 鉛筆削り, 定着液等, 鉛筆デッサンに必要な描画道具一式。なお, 木炭紙大画用紙, イーゼル, カルトンは大学で用意します。

◇水彩による静物着彩

鉛筆, 消しゴム, 鉛筆削り, 水彩絵具（透明水彩に限ります）, 筆, 筆洗, 筆ふき, パレット等, 静物着彩に必要な描画道具一式。なお, B3水彩用紙, イーゼルは大学で用意します。

◇発想・企画プレゼンテーション

鉛筆, 消し具（消しゴム, 練りゴム）, 鉛筆削り, 色鉛筆, パステル, 直線定規, 三角定規, コンパス等。なお, A2イラストレーションボード, 下書き用紙は大学で用意します。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
教育学部 学校教育課程 〔5.2〕 120人 前期 70 後期 22 その他28	幼小連携教育コース 〔幼小発達教育専攻〕 〔特別支援教育専攻〕 25人 前期 15 後期 5 その他 5	前期 2月 25日	国 数 地歴・ 公民 理 外 国【必須】 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1又は2 } から3 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1又は2 } 英、独、仏、中、韓から1	国 数 外 国総・国表 } から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } (注) コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ		〔5教科7科目又は6教科7科目〕
		後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外 国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1	外 その他 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 小論文		〔5教科5科目〕
	小中連携教育コース 〔初等教育主免専攻〕 70人 前期 43 後期 12 その他 15	※地歴公民 2科目型 前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外 国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から2 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1	国 数 外 国総・国表 } から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } (注) コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	〔5教科7科目又は6教科7科目〕	
			※理科 2科目型 前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外 国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から2 英、独、仏、中、韓から1	〔5教科7科目〕	
小中連携教育コース 〔中等教育主免専攻〕 25人 前期 12 後期 5 その他 8	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外 国【必須】 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1 物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1 英、独、仏、中、韓から1	外 その他 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 小論文	〔5教科5科目〕		

【個別学力検査等】欄

(注) 国語及び数学の2教科受験した場合は、高得点の教科を採用します。

※小中連携教育コース前期日程の地歴公民2科目型及び理科2科目型の利用については、志願者が出願時に選択します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総 合 問 題	小論文	実技	面接	調査 書 等	その他	配 点 計	
センター試験	200	*(注1)		200	*(注1)	200							900	推 薦 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200							400	
計	*400	*(注1)		*400	*(注1)	400							1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200							1000	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査						200		200					400	
計	200	*200	*200	200	200	400		200					1400	
センター試験	200	*200(注2)		200	100	200							900	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200							400	
計	*400	*200(注2)		*400	100	400							1300	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査	*200			*200		200							400	
計	*400	*100	*100	*400	200	400							1300	
センター試験	200	*200	*200	200	200	200							1000	推 薦 A O 外 国 人 追加合格 欠員補充
個別学力検査						200		200					400	
計	200	*200	*200	200	200	400		200					1400	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

(注1) 2教科3科目又は3教科3科目選択し、配点は各科目100点の合計300点とします。

(注2) 1教科2科目又は2教科2科目選択し、配点は各科目100点の合計200点とします。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等				
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜		
芸術地域 デザイン 学部 芸術地域 デザイン 学科 55人 前期 33 後期 12 その他 10 [4.9] 110人 前期 58 後期 27 その他25	芸術表現コース 前期 2月 25日 後期 3月 12日	〔3科目型〕	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 英,独,仏,中,韓から1 [3教科3科目]	その他	実技検査（描写表現）（注1）		
		〔4科目型〕	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数A, 数II,数II・数B,簿・会,情 } から2 物,化,生,地学, 基礎を付した科目 } から1又は2 英,独,仏,中,韓から1 [3教科4科目又は4教科4科目]	その他	実技検査（発想表現）（注1）		
		〔3科目型〕	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 英,独,仏,中,韓から1 [3教科3科目]	その他	実技検査（描写表現） } から1 実技検査（発想表現） } （注1）		
	地域デザインコース 55人 前期 25 後期 15 その他 15	前期 2月 25日	〔5科目型〕	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 から1 英,独,仏,中,韓から1 [5教科5科目]	その他	総合問題（注2）	
		後期 3月 12日	〔4科目型〕	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情 } から1 物,化,生,地学,基礎を付した科目 英,独,仏,中,韓から1 [4教科4科目]	外 その他	コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II 問題解決・提案力テスト（注3）	

【個別学力検査等】欄

（注1）実技検査の内容については、22ページに記載しています。

（注2）総合問題の内容については、21ページに記載しています。

（注3）問題解決・提案力テストの内容については、21ページに記載しています。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入 試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技	面接	調査 書等	その他	配点 合計	
センター試験	200	*100	*100	*100	*100	200							500	推 薦 A O 外 国 人 追加合格
個別学力検査									500				500	
計	200	*100	*100	*100	*100	200			500				1000	
センター試験	200	*200 (注)				200							600	欠員補充
個別学力検査									400				400	
計	200	*200 (注)				200			400				1000	
センター試験	200	*100	*100	*100	*100	200							500	追加合格
個別学力検査									300				300	
計	200	*100	*100	*100	*100	200			300				800	
センター試験	200	*100	*100	100	100	200							700	A O 外 国 人 追加合格
個別学力検査							400						400	
計	200	*100	*100	100	100	200	400						1100	
センター試験	200	*100	*100	*100		200							600	欠員補充
個別学力検査						100					200	300		
計	200	*100	*100	*100		300					200	900		

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表しています。

(注) 1教科2科目又は2教科2科目を選択し、配点は各科目100点の合計200点とします。なお、数学または理科から少なくとも1教科の選択を必須とします。

平成29年度 佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名及び入学定員等〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
経済学部 〔4.0〕 260人 前期 135 後期 65 その他60	経済学科 110人 前期 70 後期 20 その他 20	前期 2月25日	国 地歴・公民 数 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 数I,数I・数Aから1 数II,数II・数B,簿・会,情から1 英,独,仏,中,韓から1	外	コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II	
	経営学科 80人 前期 30 後期 20 その他 30	後期 3月12日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 数I,数I・数Aから1 数II,数II・数B,簿・会,情から1 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 物,化,生,地学,基礎を付した科目 英,独,仏,中,韓から1	その他	小論文	
	経済法学科 70人 前期 35 後期 25 その他 10						
医学部 〔5.5〕 166人 前期 85 後期 15 その他66	医学科 106人 前期 50 後期 10 その他 46	前期 2月25日・26日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I・数A【必須】 数II・数B,簿・会,情から1 物【必須】 化【必須】 英【必須】	数 理 外 その他	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物,化基・化 コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II 面接	※約5倍
		後期 3月12日・13日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世B,日B,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I・数A【必須】 数II・数B,簿・会,情から1 物,化,生から2 英【必須】	その他	面接（注）	※約10倍
	看護学科 60人 前期 35 後期 5 その他 20	前期 2月25日・26日	国 地歴・公民 数 理 外	国【必須】 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B, 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数I・数A,数II,数II・数B,簿・会,情から1 物,化,生から2 英【必須】	その他	小論文 面接	
		後期 3月12日・13日			その他	面接（注）	

【個別学力検査等】欄

（注）面接は第1日目と第2日目の2回行います。

※2段階選抜は、大学入試センター試験の成績及び調査書の審査による選抜を行い、前期日程にあつてはその合格者に対して個別学力検査等を実施し、後期日程にあつてはその合格者に対して調査書の追加として自己推薦書を提出させ、個別学力検査等を実施します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総 合 問 題	小論文	実技	面接	調 査 書 等	その他	配 点 合 計	
センター試験	200	*100	*100	200		200							700	推 薦 外 国 人 追加合格
個別学力検査						100							100	
計	200	*100	*100	200		300							800	
センター試験	200	*100	*100	200	*100	200							700	推 薦 婦 子 女 佐 賀 県 推 薦 外 国 人 追加合格
個別学力検査								100					100	
計	200	*100	*100	200	*100	200		100					800	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140							630	推 薦 婦 子 女 佐 賀 県 推 薦 外 国 人 追加合格
個別学力検査				80	80	80				☆60	100		400	
計	140	*70	*70	220	220	220				60	100		1030	
センター試験	140	*70	*70	140	140	140							630	推 薦 社 会 人 追加合格
個別学力検査										☆180	100		280	
計	140	*70	*70	140	140	140				180	100		910	
センター試験	140	*70	*70	100	200	140							650	推 薦 社 会 人 追加合格
個別学力検査								100		☆60	100		260	
計	140	*70	*70	100	200	140		100		60	100		910	
センター試験	140	*70	*70	100	140	140							590	推 薦 社 会 人 追加合格
個別学力検査										☆180	100		280	
計	140	*70	*70	100	140	140				180	100		870	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

配点に☆印を付してある面接は、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理工学部 〔5.0〕 490人 前期 340 後期 94 その他56	数理学科 前期 30人 後期 24人 その他 若干	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	
	物理科学科 前期 40人 後期 30人 その他 8人 その他 2人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	物基・物	
	知能情報 システム学科 前期 60人 後期 45人 その他 10人 その他 5人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ	
		後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B } から1 物基・物 } (注)	
機能物質化学科 前期 90人 後期 62人 その他 16人 その他 12人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ		
	後期 3月 12日	理 外	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	化基・化		
機械システム 工 学 科 前期 90人 後期 58人 その他 17人 その他 15人	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数Ⅰ・数A【必須】	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ		
	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数	数Ⅱ・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B		

【個別学力検査等】欄

(注) 数学及び理科の2教科を受験した場合は、高得点の教科を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技	面接	調査書等	その他	配点計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				400									400	
計	100	*50	*50	550	150	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査				*400	*400								400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	追加合格 欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推 薦 帰国子女 外国人 追加合格
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				400									400	
計	100	*50	*50	550	150	150							1000	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

平成29年度佐賀大学入学者選抜（一般入試）における実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成28年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	
理工学部 電気電子工学科 90人 前期 60 後期 22 その他 8 都市工学科 90人 前期 61 後期 15 その他 14	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物, 化基・化から1 コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II		
			国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物【必須】 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]				数 理
	後期 3月 12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 物基・物 コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II		
			国【必須】 世B, 日B, 地理B, } から1 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物【必須】 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]				理
	農学部 [3.9] 145人 前期 85 後期 30 その他30 生物環境科学科 60人 前期 30 後期 15 その他 15 生命機能科学科 40人 前期 30 後期 5 その他 5	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 外	数I・数II・数A・数B コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II	
				数 数I・数II・数A・数B			
後期 3月 12日		国【必須】 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A【必須】 数II・数B, 簿・会, 情から1 物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 外	数I・数II・数A・数B コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II			

【個別学力検査等】欄

(注) 数学及び理科の2教科を受験した場合は、高得点の教科を採用します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														特別の入試方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技	面接	調査書等	その他	配点計	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	追加合格
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査				*400	*400								400	
計	100	*50	*50	*550	*550	150							1000	
センター試験	200	*100	*100	200	200	200							900	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				300	200	100							600	
計	200	*100	*100	500	400	300							1500	追加合格
センター試験	100	*50	*50	150	150	150							600	欠員補充
個別学力検査					400								400	
計	100	*50	*50	150	550	150							1000	
センター試験	150	*50	*50	100	200	100							600	推薦 帰国子女 外国人
個別学力検査				200		200							400	
計	150	*50	*50	300	200	300							1000	追加合格
センター試験	100	*50	*50	100	200	100							550	欠員補充
個別学力検査				200									200	
計	100	*50	*50	300	200	100							750	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。

7 学部ごとの採点・評価基準，合否判定基準

学部	区分	内 容
教 育 学 部	採点・評価 基準	<p>①学校教育課程幼小連携教育コース（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】 課された資料の内容を理解しているか，資料の内容に関する知識を有しているか，論述内容が与えられた課題に沿って構成されているか，自分の考えを正確で分かりやすい表現を用いて論理的に述べているか，などの観点から総合的に評価します。</p> <p>②学校教育課程小中連携教育コース（後期日程） 【小論文の採点・評価基準】 課された資料の内容を理解しているか，資料の内容に関する知識を有しているか，論述内容が与えられた課題に沿って構成されているか，自分の考えを正確で分かりやすい表現を用いて論理的に述べているか，などの観点から総合的に評価します。</p>
	同点者の 順位決定	前期日程，後期日程とも同点者は，同順位とします。
	その他	前期日程の個別学力検査において，国語及び数学の2教科を受験した場合は，高得点の教科を採用します。
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部	採点・評価 基準	<p>①芸術地域デザイン学科芸術表現コース（前期日程・後期日程） 【実技検査（描写表現）の採点・評価基準】 石膏デッサン又は静物着彩で素描力，造形力をみます。形の正確さや質感，量感，色彩感などから造形活動に必要な力を身に付けているかを総合的に評価します。</p> <p>【実技検査（発想表現）の採点・評価基準】 問題内容の理解力，論理性，独創性をみることにより，芸術表現活動に必要な基礎的発想力を身に付けているかを総合的に評価します。</p> <p>②芸術地域デザイン学科地域デザインコース（前期日程） 【総合問題の採点・評価基準】 与えられた文章，資料の内容を理解しているか，論理的な思考力を身につけているか，基本的な知識や計算力などを身につけているか，適切な表現及び記述がなされているかを評価します。</p> <p>③芸術地域デザイン学科地域デザインコース（後期日程） 【問題解決・提案力テストの採点・評価基準】 与えられた文章，図表などの資料の内容を理解しているか，与えられた課題に対する問題点などを的確に記述しているか，解答者の考えが，見る人にとってわかりやすい適切かつ簡潔な表現となっているかを評価します。</p>
	同点者の 順位決定	前期日程，後期日程とも同点者は，同順位とします。

学部	区分	内 容
経 済 学 部	採点・評価 基準	個別学力検査（後期日程）の小論文では、提示された資料を理解しているか、意見や考えを適切な表現を用いて論理的に書くことができているか、という観点から評価を行います。
	同点者の 順位決定	前期日程においては、個別学力検査「外国語」の成績によります。個別学力検査「外国語」同点の者については、大学入試センター試験「外国語」の成績によります。さらに、大学入試センター試験「外国語」同点の者については、大学入試センター試験「国語」の成績によります。後期日程においては、個別学力検査「小論文」の成績によります。個別学力検査「小論文」同点の者については、大学入試センター試験「外国語」の成績によります。さらに、大学入試センター試験「外国語」同点の者については、大学入試センター試験「国語」の成績によります。
医 学 部	採点・評価 基準	<p>○前期日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文（看護学科） 小論文は、提示された課題について、論理的な思考力や適切な表現力によりの確に記述されているかを評価します。 ・面接 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師、看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお、評価が低い場合は不合格とすることがあります。 ・調査書 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書によって評価します。 また、面接にあたっても参考にします。
		<p>○後期日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接 2日間にわたり面接試験を実施します。第1日目は調査書等を基に、第2日目は自己推薦書を基に実施します。 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について対話・口述を通して評価し、将来優れた医師、看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお、評価が低い場合は不合格とすることがあります。

学部	区分	内 容
医学部	採点・評価基準	<p>・調査書及び自己推薦書</p> <p>単に学業成績優秀というのみでなく，規則的な生活習慣を保ち，学習意欲，積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び自己推薦書によって評価します。</p> <p>また，面接にあたっては参考とします。</p>
理工学部	同点者の順位決定	<p>前期日程においては，志望順位によります。志望順位が同じ場合は，個別学力検査の得点によります。さらに，得点と同じ場合は，同順位とします。</p> <p>後期日程においては，個別学力検査の得点によります。さらに，得点と同じ場合は，同順位とします。</p>
農学部	同点者の順位決定	<p>前期日程，後期日程とも，第1志望，第2志望にかかわらず，同順位とします。</p>

8 試験場, 入室時刻及び試験日程

【前期日程】

(1) 試験場

○教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部の各志願者
佐賀大学本庄キャンパス (佐賀市本庄町1番地)

○医学部の志願者

佐賀大学鍋島キャンパス (佐賀市鍋島5丁目1番1号)

(2) 試験室

試験室の配置図及び試験場の下見については, 試験日の3~4日前に本学ホームページに掲載します。

(3) 入室時刻

○教育学部, 芸術地域デザイン学部地域デザインコース, 経済学部, 医学部, 理工学部, 農学部の各志願者

8時30分から9時00分までの間に各試験室に入室してください。

なお, 医学部の第2日目については, 受験票送付時に同封の通知文で指定された時間内に受付を済ませてください。

○芸術地域デザイン学部芸術表現コースの志願者

8時45分までに芸術地域デザイン学部1号館玄関に集合してください。

(4) 試験日程

学部等名		平成29年2月25日(土)						平成29年2月26日(日)	
		開始時刻 終了時刻		開始時刻 終了時刻		開始時刻 終了時刻		開始時刻 終了時刻	
		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)	
教育学部		9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:10 数学(100分)		15:10~16:50 国語(100分)			
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース(注1)	9:30~12:30 実技検査(描写表現) 昼食休憩1時間を挟み, 6時間で1課題を解答します。		13:30~16:30 実技検査(描写表現)					
		9:30~12:30 実技検査(発想表現) 昼食休憩1時間を挟み, 5時間で1課題を解答します。		13:30~15:30 実技検査(発想表現)					
	地域デザインコース	9:30~11:10 総合問題(100分)							
経済学部		9:30~11:10 英語(100分)							
医学部	医学科(注2)	9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:30 数学(120分)		15:30~17:00 理科(90分)		9:10~ 面接	
	看護学科(注2)	9:30~11:00 小論文(90分)						9:10~ 面接	
理工学部		9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:30 数学(120分)		15:30~17:00 物理又は化学(注3) (90分)			
農学部		9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:30 数学(120分)					

(注1) 昼食時間の弁当購入や外食はできませんので, 各自昼食を用意してください。

(注2) 第1日目の試験を欠席した者は失格とし, 第2日目は受験できません。

(注3) 志願票に記入した1科目を受験します。

【後期日程】

(1) 試験場

- 教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部の各志願者
佐賀大学本庄キャンパス (佐賀市本庄町1番地)
- 医学部の志願者
佐賀大学鍋島キャンパス (佐賀市鍋島5丁目1番1号)

(2) 試験室

試験室の配置図及び試験場の下見については, 試験日の3~4日前に本学ホームページに掲載します。

(3) 入室時刻

- 教育学部, 芸術地域デザイン学部地域デザインコース, 経済学部, 理工学部, 農学部の各志願者
8時30分から9時00分までの間に各試験室に入室してください。
なお, 理工学部志願者のうち, 物理又は化学のみ受験する場合は, 12時00分から12時30分までの間に入室してください。
- 芸術地域デザイン学部芸術表現コースの志願者
8時45分までに芸術地域デザイン学部1号館玄関に集合してください。
- 医学部の志願者
受験票送付時に同封の通知文で指定された時間内に受付を済ませてください。なお, 面接は第1日目と第2日目の2回行います。

(4) 試験日程

学部等名		平成29年3月12日(日)		平成29年3月13日(月)	
		開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻
		科目名(試験時間)		科目名(試験時間)	
教育学部		9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:10 小論文(100分)	
芸術地域デザイン学部	芸術表現コース (注1)	9:30~12:30 実技検査 (描写表現又は発想表現) 昼食休憩1時間を挟み, 5時間で1課題を解答します。		13:30~15:30 実技検査 (描写表現又は発想表現)	
	地域デザインコース	9:30~11:10 英語(100分)		12:30~14:10 問題解決・提案力テスト (100分)	
経済学部		9:30~11:10 小論文(100分)			
医学部 (注2)(注3)		9:10~ 面接		9:10~ 面接	
理工学部		9:30~11:30 数学(120分)		13:00~14:30 物理又は化学(注4) (90分)	
農学部		9:30~11:30 数学(120分)			

(注1) 昼食時間の弁当購入や外食はできませんので, 各自昼食を用意してください。

(注2) 自己推薦書を所定の期日までに提出しなかった者は失格とし, 試験は受験できません。

(注3) 第1日目の試験を欠席した者は失格とし, 第2日目は受験できません。

(注4) 電気電子工学科志願者のうち理科を受験する者は, 志願票に記入したいいずれか1科目を受験します。

9 受験にあたっての主な注意事項

- (1) 試験場建物内には、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票**を提示し入場してください。
- (2) 本学の受験番号と机上の番号が一致するよう着席してください。本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を机上の右上に置いてください。なお、机上には、受験票、筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含みます。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除きます。）、コンパス、小型三角定規、直線定規〕、眼鏡及び時計（計時機能だけのもの）以外の物は置かないでください。
その他の荷物は監督者の指示に従い、机の下の足元又は横に置いてください。
特に、スマートフォンや携帯電話、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。
- (3) 試験室においては、監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験開始後30分以上遅刻した者は、入室できません。また、試験途中での退室は認めません。なお、交通機関の事故により、試験開始後30分以上遅刻した者は、試験場本部に申し出てください。
- (5) 試験時間中、気分が悪くなった者は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
- (6) 問題冊子は持ち帰ってください。計算紙又は下書き用紙が配付された場合はそれも持ち帰ってください。
- (7) 面接では、受付から解散までの所要時間が多少長くなることもありますので、その心づもりでいてください。
- (8) 本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに試験場本部に申し出て指示を受けてください。
- (9) 弁当及び飲み物は、各自持参してください。
- (10) 過去に麻疹（はしか）の予防接種を受けていない者や、麻疹にかかったことがない者は受験前に予防接種を受けることをお勧めします。
- (11) 受験者は、試験日の前日、下見をして試験場の場所を確認してください。

前期日程	平成29年 2月24日(金) 13時から16時まで
後期日程	平成29年 3月11日(土) 13時から16時まで

- (12) 前日の下見及び試験当日は、自家用車による入構はできません。
本学の試験会場周辺の道路は、午前7時30分頃から同9時頃まで渋滞します。試験当日はさらなる渋滞が予想されますので、電車、バス等の公共交通機関を利用し、余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (13) 遠方からの受験者は、風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程に十分余裕をもって、行動してください。
- (14) 大学入試センター試験の受験票は、合格者発表後の入学手続の際に必要なので保管しておいてください。
- (15) 芸術地域デザイン学部の実技検査は、昼食休憩1時間を含め試験途中での退室は認めておりません。このため、弁当購入や外食ができませんので、必ず昼食を持参してください。
なお、昼食場所は別途準備しています。
スマートフォンや携帯電話、腕時計型端末等の電子機器類については、休憩時間内を含めてその使用を禁止しますので試験終了までお預かりします。
- (16) その他不明の点があれば、学務部入試課（試験当日は、試験場本部）に問い合わせてください。

10 障がい等を有する志願者との事前相談について

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）及び添付書類を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

*申請書の内容

志願学部・学科（コース・専攻）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名、電話番号、住所、出身高校）

*添付書類

大学入試センター試験の受験上の配慮事項決定通知書の写し

○相談の時期

平成29年1月16日(月)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

11 合格者の発表

(1) 発表期日

• 前期日程 平成29年3月7日(火) 10時

• 後期日程 平成29年3月22日(水) 10時

(2) 発表場所及び通知等

本学（本庄キャンパス）美術館前広場に合格者の受験番号を掲示するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

また、合格者発表日の10時30分頃からホームページでも確認できます。（43ページ参照）

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますので、ご了承ください。

12 入学手続

(1) 入学手続期間

• 前期日程 平成29年3月10日(金)から3月15日(水)17時までに必着するように発送してください。

• 後期日程 平成29年3月24日(金)から3月27日(月)17時までに必着するように発送してください。なお、後期日程に限り、合格者発表から入学手続締切日までの期間が短いため、3月25日(土)、26日(日)、27日(月)に来学して入学手続ができます。来学希望の方は事前に本学教務課（0952-28-8164）へご連絡ください。

期間内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

(2) 入学手続の内容

前記(1)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

- ① 入学手続関係書類
本学所定の誓約書及び学生カード（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。）、写真（2枚）
- ② 入学料
282,000円（入学手続時に納入してください。）
※この金額は、平成28年4月現在のものです。
（留意事項）
 - ① 入学時に入学料の改定が行われた場合には、改定後の入学料を納入していただくこととなります。
なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。
 - ② 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
 - ③ 下記「入学料免除の申請対象者」のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納入が著しく困難であると認められる場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、入学料の全額又は半額免除及び徴収を猶予する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。
入学料免除の申請対象者
 - ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方
 - ・入学前1年以内に本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた方
- (3) 注意事項
 - ア 一つの国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う大学を除きます。）に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学に入学手続をとることはできません。
 - イ 入学手続の全般にわたる詳細な手続方法は、入学手続関係書類の中に記載します。

13 授業料について

- (1) 授業料の金額
前期分 267,900円 後期分 267,900円 [年額535,800円]
※この金額は、平成28年4月現在のものです。
- (2) 納入方法
授業料は「口座振替制度」の利用をお願いしています。
- (3) 口座振替日
前期分：平成29年5月29日(月) 後期分：平成29年11月27日(月)
（留意事項）
 - ① 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入していただくこととなります。
 - ② 下記「授業料免除の申請対象者」のいずれかに該当する場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、授業料（半期分）の全額又は半額を免除する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。
授業料免除の申請対象者
 - ・経済的理由（各種ローンや負債等の返済を除く）によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
 - ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難と認められる方

14 入学準備学習について

理工学部合格者には、合格者発表後から入学するまでの間に、次の入学準備学習を課します。

- 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）のeラーニング
※eラーニングとは、インターネットなどのコンピューターネットワークを通じて学習する方式です。

受講方法などは合格通知書に同封の書類をご参照ください。

15 欠員の補充方法

入学手続締切日の時点で、入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、次の方法により欠員を補充します。

- (1) 平成29年3月28日(火)から平成29年3月31日(金)までの間に追加合格者を決定し、欠員を補充します。
- (2) 追加合格の通知は、電話により行います。
電話により追加合格の連絡を受けた者は、速やかに入学意志の有無を決定の上、本学へ電話で連絡してください。
- (3) 入学手続は、原則として追加合格の通知で本学が定めた期日までに本学に来学の上、行ってください。その方法等は、「12 入学手続」に準じて行います。
ただし、合格通知書及び入学手続関係書類は、本学へ来学の際、直接本人に交付します。
詳細な手続方法は、追加合格の通知の際に指示します。
- (4) 本学が定めた期日以内に入学手続をしなかった者は、入学辞退者とします。

16 入学許可の取消し

- (1) 平成29年3月に高等学校卒業見込みで受験した者で、平成29年3月までに当該高等学校を卒業できない者は入学許可を取消します。
- (2) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取消することがあります。

17 佐賀大学生協からのお知らせ

- (1) 入学試験時における受験者の宿泊斡旋は行いません。
宿泊を必要とする場合は、次のところに照会すると便利です。
なお、この他、宿泊斡旋を行うところもあります。
 - JTB コンベンションサポートセンター
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル6F 電話 092-751-2102
営業時間は月～金曜日の9:30～17:30(土日祝日は休み)
※詳細は同封の「佐賀大学生協からの受験宿泊・交通のご案内」を参照ください。
 - 日本旅行佐賀支店
〒840-0816 佐賀市駅南本町3-7 電話 0952-24-2218
営業時間は月～金曜日の9:30～17:30(土日祝日は休み)
- (2) アパート・マンション等の紹介、教科書教材等の資料請求について
合格者へのアパート・マンション等の紹介は、佐賀大学生生活協同組合(以下、佐賀大学生協と略す)や周辺不動産業者が行っています。受験時に詳細資料を配布しますが、早めの資料請求予約、問合せは以下までお願いします。鍋島キャンパス周辺の物件も佐賀大学生協で紹介しています。
教科書、教材等の案内も平成29年3月初旬に佐賀大学生協から送付致します。

佐賀大学生生活協同組合 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学キャンパス内
電話(代表)0952-25-4450 月曜～金曜 10:00～17:00 <http://kyushu.seikyoku.ne.jp/scoop/>
アパート・マンション紹介時期は以下のようになっています。

- ・通常期 月曜～金曜 10:00～16:00 本庄キャンパス大学会館店
- ・特別斡旋日 平成29年3月6日(月)～27日(月) 10:00～16:00
本庄キャンパス大学会館食堂内

※この期間、後期日程試験日3月12日(日)以外は土日祝日も営業します。

なお、3月11日(土)は後期日程の下見日(13:00～16:00)のため、構内の交通規制を行います。自家用車で来られる場合は、担当者の指示に従って、通行・駐車をお願いします。

18 請求により本人に開示される個人情報

平成29年度入学者選抜に係る成績及び調査書の開示は次のとおりとします。

開示内容	申請方法	参 照
・ 個人成績のみ	郵送又は持参	(1)
・ 個人成績及び調査書	持参	(1), (2)
・ 調査書のみ		(2)

(1) 個人成績の開示

受験者本人からの郵送又は窓口での請求により開示します。

① 申請期間：平成29年5月1日(月)から平成29年5月31日(水)まで（郵送必着）
（窓口での申請は、土・日・祝日を除く9：00～17：00）

② 申請者：受験者本人に限ります。

③ 申請方法：次の書類を入試課に郵送または持参してください。

【必要書類】ア. 入試情報開示申請書（※） 本学所定の様式に必要事項を記入し、押印したもの

イ. 本学受験票

（紛失の際は本人であることがわかるもの（写真付き）。ただし受験番号は申請書に記入する必要があります。）

ウ. 返信用封筒（長形3号の封筒に392円分の切手を貼ったもの）

※申請書は本学ホームページからダウンロードできます。

ホームページからダウンロードできない場合は、封筒の表面に、「入試情報開示申請書請求」と朱書きし、返信用封筒（郵送先を明記し82円分の切手を貼付したもの）を同封の上、入試課に請求してください。

④ 開示内容

・ 教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部及び農学部

1) 大学入試センター試験の成績「科目毎」と個別学力検査等の成績

2) 募集区分毎の総合点の順位

・ 医学部

1) 合格者：総点，合格最高点，合格最低点及び合格平均点

2) 不合格者：合格最高点，合格最低点及び合格平均点，合格最低点との得点差をランク別に示したもの（それぞれのランクの合計人数を含みます。）

※前期日程・後期日程ともに第1段階選抜不合格者には開示しません。

⑤ 提供方法：入試情報開示申請書等を受理した日から3週間程度を目途に簡易書留で「入試情報開示決定通知書」を送付します。その際、受験票も併せて返送します。

(2) 調査書の開示

① 申請期間：平成29年5月1日(月)から平成29年5月31日(水)までの9：00～17：00（土・日・祝日を除きます。）

② 申請方法：入試情報開示申請書及び受験票を持参のうえ、受験者本人が入試課窓口で申請してください。

※窓口閲覧のため、郵送、電話、FAX等での申請は受け付けません。

③ 開示内容：出願時に提出された調査書の閲覧とします。

ただし、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」を除きます。

19 個人情報取扱について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に、教育目的等（入学料・授業料免除、入学料徴収猶予及び奨学金等を含む。）に利用します。

国公立大学・学部の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

20 入試情報の提供

インターネットによる入試情報の提供

佐賀大学入試ホームページ「入試案内、一般入試」に以下の内容を掲載します。

項目	提供開始時期	内容
一般入試の志願者数及び志願者倍率速報	願書受付日から	募集単位毎に、毎日掲載します。
合格者発表	○前期日程 平成29年3月7日(火) 10時30分頃から ○後期日程 平成29年3月22日(水) 10時30分頃から	募集単位毎に、合格者受験番号を掲載します。 ※合格発表直後は、回線が大変込み合うため、接続に時間がかかる場合があります。 ※やむを得ない事態が生じた場合、ウェブサイトへの掲載を一時中断することがあります。
追加合格情報	平成29年3月28日(火) 10時頃から	追加合格を実施する学部、学科・課程等を掲載します。

21 入学志願票等の記入上の注意及び記入例（前期日程用）

○必ず志願者本人が黒のボールペン等（消せるボールペンは不可）を使用し、白地の箇所を丁寧に記入してください。

○誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください。訂正印は不要です。

【志願票】

記入項目	記入方法																										
志望学部	<p>◇志望する学部名を記入してください。</p> <p>[記入例：経済学部を志望する場合]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">志望 学部</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">経 済</td> <td style="text-align: center;">学部</td> </tr> </table>	志望 学部	経 済	学部																							
志望 学部	経 済	学部																									
氏名・生年月日・性別	<p>◇氏名は、丁寧に記入し、フリガナをつけてください。</p> <p>◇生年月日を記入し、該当する性別を○で囲んでください。</p>																										
出身学校等	◇出身学校等の所在地、学校名及び卒業等年月を記入してください。																										
大学入試センター試験成績請求票	◇「 前 平成29センター試験成績請求票国公立前期日程用」を貼付欄に、はがれないようにのり付けしてください。																										
C票検定料振込証明書貼付欄	◇前期日程用検定料振込依頼書により、銀行窓口で検定料を振り込んだ後、C票を貼り付けてください。																										
志望学科等	<p>◇志望する学科等のコード番号を○で囲んでください。</p> <p>◇理工学部及び農学部は、第2志望を希望することができます。経済学部は第3志望まで希望することができます。希望者は該当コード番号を○で囲んでください。</p> <p>◇教育学部、芸術地域デザイン学部及び医学部は、第2志望を希望することはできません。</p> <p>[記入例：経済学部で第3志望まで希望する場合]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th colspan="2">第1志望</th> <th colspan="2">第2志望</th> <th colspan="2">第3志望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">経 済</td> <td>経済学科</td> <td>01</td> <td>経済学科</td> <td>①</td> <td>経済学科</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>経営学科</td> <td>02</td> <td>経営学科</td> <td>02</td> <td>経営学科</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>経済法学科</td> <td>③</td> <td>経済法学科</td> <td>03</td> <td>経済法学科</td> <td>03</td> </tr> </tbody> </table>	学部	第1志望		第2志望		第3志望		経 済	経済学科	01	経済学科	①	経済学科	01	経営学科	02	経営学科	02	経営学科	②	経済法学科	③	経済法学科	03	経済法学科	03
学部	第1志望		第2志望		第3志望																						
経 済	経済学科	01	経済学科	①	経済学科	01																					
	経営学科	02	経営学科	02	経営学科	②																					
	経済法学科	③	経済法学科	03	経済法学科	03																					
センター試験区分の選択	◇教育学部小中連携教育コース志願者は、センター試験区分のコード番号を○で囲んでください。この選択した教科・科目型で、センター試験の成績を合格者判定に使用します。 教科・科目の詳細は、23, 24ページを参照してください。																										
実技検査の選択	◇芸術地域デザイン学部芸術表現コース志願者は、受験する実技検査を選択し、いずれか1つのコードを○で囲んでください。																										

個別学力検査の 受験科目の選択	<p>◇理工学部志願者は、志望する学科によって理科の受験科目が異なります。 以下の図を参考にして、受験する科目のコード番号を○で囲んでください。</p> <p>【志望学科と理科の受験科目】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">第1志望</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">第2志望</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">理科 受験科目</td> </tr> <tr> <td>物理科学科 機械システム工学科 都市工学科</td> <td>全学科 志望しない</td> <td>物理</td> </tr> <tr> <td>数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科</td> <td>物理科学科 機械システム工学科 都市工学科</td> <td>物理</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科 志望しない</td> <td>物理 化学</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">出願時に いずれか 1科目選択</p>	第1志望	第2志望	理科 受験科目	物理科学科 機械システム工学科 都市工学科	全学科 志望しない	物理	数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科	物理科学科 機械システム工学科 都市工学科	物理		数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科 志望しない	物理 化学												
第1志望	第2志望	理科 受験科目																							
物理科学科 機械システム工学科 都市工学科	全学科 志望しない	物理																							
数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科	物理科学科 機械システム工学科 都市工学科	物理																							
	数理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科 電気電子工学科 志望しない	物理 化学																							
大学在学経験	◇医学部志願者のうち、大学に在学中若しくは在学したことのある者は、大学在学経験の欄の「在学中」、「卒業」、「中退」のいずれかの該当するコード番号を○で囲んでください。																								
かささぎ奨学金 希望欄	◇かささぎ奨学金（48ページ参照）の希望の有無について、該当するコード番号を○で囲んでください。																								
連絡先	◇住所及び電話番号を記入してください。本学から出願書類等の記載内容について問い合わせする場合に使用します。																								
履歴書(裏面)	<p>◇医学科及び看護学科志願者は、卒業見込者を含めて必ず裏面の履歴書を記入してください。</p> <p>※記入例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2" style="text-align: center;">履 歴 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 歴 ・ 経 歴</td> <td style="text-align: center;">昭和・平成 26年 4月</td> <td style="text-align: center;">〇〇県立〇〇</td> <td style="text-align: right;">高等学校入学</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">29・3</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">〇〇県立〇〇高等学校卒業見込み</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〇〇・4</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">〇〇予備校</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">〇〇・4</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">自宅学習</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: right;">現在に至る</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">以上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">高等学校卒業見込者の 記入例</p> <p style="text-align: right;">高等学校卒業後の 記入例</p>			履 歴 事 項		学 歴 ・ 経 歴	昭和・平成 26年 4月	〇〇県立〇〇	高等学校入学	29・3	〇〇県立〇〇高等学校卒業見込み		〇〇・4	〇〇予備校		〇〇・4	自宅学習			現在に至る					以上
		履 歴 事 項																							
学 歴 ・ 経 歴	昭和・平成 26年 4月	〇〇県立〇〇	高等学校入学																						
	29・3	〇〇県立〇〇高等学校卒業見込み																							
	〇〇・4	〇〇予備校																							
	〇〇・4	自宅学習																							
		現在に至る																							
			以上																						

【写真票・受験票】

志望学部等	<p>◇志望学部等について、志願票で選択した学部等名を記入してください。コース、専攻は該当のない学部は記入する必要はありません。</p> <p>◇上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影した写真の裏面に氏名を記入後、所定の位置に貼り、その上に同封の写真用シールを貼り付けてください。</p>
個別学力検査の 受験科目及び実 技検査の選択	◇芸術地域デザイン学部芸術表現コース及び理工学部志願者は、受験科目及び実技検査について、志願票で選択したとおり記入してください。

【住所票】

住所票	◇合格者に合格通知書等を発送する際に使用します。丁寧に記入してください。シールははがさないでください。
-----	---

22 入学志願票等の記入上の注意及び記入例（後期日程用）

○必ず志願者本人が黒のボールペン等（消せるボールペンは不可）を使用し、白地の箇所を丁寧に記入してください。

○誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください。訂正印は不要です。

【志願票】

記入項目	記入方法																		
志望学部	<p>◇志望する学部名を記入してください。</p> <p>[記入例：農学部を志願する場合]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">志望 学部</td> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">農</td> <td style="width: 50px;">学部</td> </tr> </table>	志望 学部	農	学部															
志望 学部	農	学部																	
氏名・生年月日・性別	<p>◇氏名は、丁寧に記入し、フリガナをつけてください。</p> <p>◇生年月日を記入し、該当する性別を○で囲んでください。</p>																		
出身学校等	◇出身学校等の所在地、学校名及び卒業等年月を記入してください。																		
大学入試センター試験成績請求票	◇「 後 平成29センター試験成績請求票国公立後期日程用」を貼付欄に、はがれないようにのり付けしてください。																		
C票検定料振込証明書貼付欄	◇後期日程用検定料振込依頼書により、銀行窓口で検定料を振り込んだ後、C票を貼り付けてください。																		
志望学科等	<p>◇志望する学科等のコード番号を○で囲んでください。</p> <p>◇経済学部は第3志望まで、農学部は第2志望を希望することができます。希望者は該当コード番号を○で囲んでください。</p> <p>◇教育学部、芸術地域デザイン学部、医学部及び理工学部は、第2志望を希望することはできません。</p> <p>[記入例：農学部で第2志望まで希望する場合]</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th colspan="2">第1志望</th> <th colspan="2">第2志望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">農</td> <td>応用生物科学科</td> <td style="text-align: center;">01</td> <td>応用生物科学科</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>生物環境科学科</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td>生物環境科学科</td> <td style="text-align: center;">02</td> </tr> <tr> <td>生命機能科学科</td> <td style="text-align: center;">03</td> <td>生命機能科学科</td> <td style="text-align: center;">03</td> </tr> </tbody> </table>	学部	第1志望		第2志望		農	応用生物科学科	01	応用生物科学科	①	生物環境科学科	②	生物環境科学科	02	生命機能科学科	03	生命機能科学科	03
学部	第1志望		第2志望																
農	応用生物科学科	01	応用生物科学科	①															
	生物環境科学科	②	生物環境科学科	02															
	生命機能科学科	03	生命機能科学科	03															
実技検査の選択	◇芸術地域デザイン学部芸術表現コース志願者は、受験する実技検査を選択し、いずれか1つのコードを○で囲んでください。																		
個別学力検査の受験科目の選択	<p>◇理工学部電気電子工学科の志願者のうち、理科を受験する者は受験する科目のコード番号を○で囲んでください。</p> <p>なお、理科の科目を選択していない場合は、数学のみを受験することになります。</p> <p>※知能情報システム学科志願者は、数学・理科（物基・物）の両方又はいずれか一方を受験可能ですが、出願時に登録する必要はありません。</p>																		

23 佐賀大学予約型奨学金（かささぎ奨学金）について

本奨学金は、本学に強く入学を希望する学業優秀な者について、入学前の申請により入学試験合格後の奨学金受給を約束（予約型）するとともに、一定の条件の下に在学期間中も支援を継続することにより、愛校心に溢れた優れた人材を育成することを目的としたものです。

(1) 申請資格

次の条件の全てを満たす者

- ① 日本の高等学校若しくは中等教育学校を平成28年度に卒業見込みの者及び平成27年度中に卒業した者
- ② 本学の一般入試（前期日程）を受験し、平成29年4月入学予定者のうち、本学に強く入学を希望する者
- ③ 本学入学後に奨学金の受給を希望する者

(2) 奨学金額

年額30万円（返還の必要はありません。）

(3) 給付期間

4年間（医学部医学科は6年間の継続支給）

※各学年の終期に学業成績、修学状況等による継続判定があります。

(4) 採用予定者数

8名程度

(5) 申請方法等

一般入試出願時に志願票のかささぎ奨学金希望欄の「希望する」に○印を付して申請してください。

(6) 採用候補者の選考・決定

申請資格を満たしている申請者を対象に、入試成績により選考し内定します。

選考は、3月下旬頃を予定しています。なお、佐賀大学ホームページに選考が終了し、採用候補者のみに通知した旨掲載します。

奨学生の内定を受けた方は、本学入学後に奨学生採用手続きをとることにより正式に採用が決定します。

(7) 奨学金授与式

奨学生採用者に別途お知らせします。

(8) その他

奨学生採用者には、本学行事等に積極的に参加していただき、学生のお手本となる愛校心に溢れた優れた人材になることを期待します。

（問い合わせ先）佐賀大学学務部学生生活課奨学金担当

（電話）0952-28-8172

（FAX）0952-28-8948

24 大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄（前期日程）

● 志願者は、下表の平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目名等で、出願する学部、学科・課程、コースの受験を要する教科・科目を受験しているか、各自で確認欄に○印を記入の上、確認してください。出願する学部、学科・課程、コースの確認欄の全てに○印が入った者は、指定された教科・科目を受験していることとなります。

なお、受験を要する教科・科目を受験していない場合は失格となります。

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目名等 [前期日程]

学部等名		受験を要する教科・科目名	確認欄	
教育学部	小学校 幼小連携教育 コース	国(国)【必須】 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2) 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1又は2) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1又は2) 外(英、独、仏、中、韓から1)	}から3	
		国(国)【必須】 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1) 外(英、独、仏、中、韓から1)		
		国(国)【必須】 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から2) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から2) 外(英、独、仏、中、韓から1)		
	中学校 小中連携教育 コース [地歴公民 2科目型]	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目) 外(英、独、仏、中、韓から1)	}から1	
		国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目) 外(英、独、仏、中、韓から1)		}から1又は2
		国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1) 外(英、独、仏、中、韓から1)		
芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン コース [3科目型]	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目) 外(英、独、仏、中、韓から1)	}から2		
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から1) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
経済学部	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1)と数(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物)【必須】と理(化)【必須】 外(英)【必須】			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生から2) 外(英)【必須】			
医学部 医学科	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物)【必須】と理(化)【必須】 外(英)【必須】			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生から2) 外(英)【必須】			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世B、日B、地理B、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学から2) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
理学部	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学から2) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から2) 外(英、独、仏、中、韓から1)			
	国(国)【必須】 地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1) 数(数Ⅰ・数A)【必須】と数(数Ⅱ・数B、簿・会、情から1) 理(物、化、生、地学、基礎を付した科目 から2) 外(英、独、仏、中、韓から1)			

25 大学入試センター試験受験教科・科目の志願者確認欄（後期日程）

● 志願者は、下表の平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目名等で、出願する学部、学科・課程、コースの受験を要する教科・科目を受験しているか、各自で確認欄に○印を記入の上、確認してください。出願する学部、学科・課程、コースの確認欄の全てに○印が入った者は、指定された教科・科目を受験していることになります。

なお、受験を要する教科・科目を受験していない場合は失格となります。

平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験の受験を要する教科・科目名等〔後期日程〕

学部等名		受験を要する教科・科目名	確認欄
教育 学部	学校教育 課程	幼小連携教育 コース	国(国)【必須】 地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から1) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)
		小中連携教育 コース	国(国)【必須】 地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から1) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)
	芸術地域 デザイン 学部	芸術表現 コース	国(国)【必須】 地歴・公民(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経) 数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情) } から1 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)
		地域デザイン コース	国(国)【必須】 地歴・公民(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I, 数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情) } から1 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)
経済学部		国(国)【必須】 数(数I, 数I・数Aから1)と数(数II, 数II・数B, 簿・会, 情から1) 地歴・公民(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経) } から1 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	
医学 部	医学科	国(国)【必須】 地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I・数A)【必須】と数(数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生から2) 外(英)【必須】	
	看護学科	国(国)【必須】 地歴・公民(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I・数A, 数II, 数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生から2) 外(英)【必須】	
理工 学部	数理学科 物理科学科 知能情報システム学科 機能物質化学科	国(国)【必須】 地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1) 数(数I・数A)【必須】と数(数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生, 地学から2) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	
	機械システム工学科	国(国)【必須】 地歴・公民(世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1)	
	電気電子工学科 都市工学科	数(数I・数A)【必須】と数(数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物)【必須】と理(化, 生, 地学から1) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	
農学部		国(国)【必須】 地歴・公民(世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数(数I・数A)【必須】と数(数II・数B, 簿・会, 情から1) 理(物, 化, 生, 地学, 基礎を付した科目 から2) 外(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	

26 過去3か年の志願者等状況

平成26年度 佐賀大学

学部	課程・学科、選修	募集人員		志願者 A			受験者 B			合格者 C			倍率(B/C)		入学者 D		
		前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計
文化教育教育学部	教育学選修	14	6	62	49	111	61	20	81	18	6	24	3.4	3.3	16	5	21
	教育心理学選修	6	3	26	16	42	25	9	34	7	3	10	3.6	3.0	7	3	10
	障害児教育選修	24	8	70	61	131	68	30	98	26	9	35	2.6	3.3	25	8	33
	教科教育選修	5	2	27	32	59	26	12	38	6	6	12	4.3	2.0	4	3	7
	理科選修	5	2	18	27	45	16	13	29	6	2	8	2.7	6.5	6	2	8
	音楽選修	-	3	-	14	14	-	5	5	-	3	3	-	1.7	-	3	3
	国際文化課程	40	14	113	120	233	110	47	157	48	18	66	2.3	2.6	45	12	57
	人間環境課程	35	9	79	63	142	75	18	93	44	11	55	1.7	1.6	39	9	48
	美術・工芸課程	19	7	52	72	124	52	36	88	21	9	30	2.5	4.0	19	9	28
	小計	148	54	447	454	901	433	190	623	176	67	243	2.5	2.8	161	54	215
経済学部	経済学科	70	20	200	208	408	198	57	255	102	25	127	1.9	2.3	78	18	96
	経営学科	30	20	110	129	239	106	41	147	44	33	77	2.4	1.2	30	22	52
	経済法学科	35	25	87	157	244	85	51	136	51	30	81	1.7	1.7	44	22	66
	小計	135	65	397	494	891	389	149	538	197	88	285	2.0	1.7	152	62	214
医学部	医学科	50	10	307	283	590	252	39	291	50	13	63	5.0	3.0	48	13	61
	看護学科	35	5	80	65	145	77	27	104	35	9	44	2.2	3.0	31	9	40
	小計	85	15	387	348	735	329	66	395	85	22	107	3.9	3.0	79	22	101
理工学部	数理学科	24	6	76	98	174	75	55	130	27	6	33	2.8	9.2	26	4	30
	物理学科	32	8	75	88	163	73	47	120	37	11	48	2.0	4.3	35	5	40
	知能情報システム学科	48	10	139	153	292	138	84	222	52	14	66	2.7	6.0	49	11	60
	機能物質化学科	62	16	156	228	384	152	119	271	63	30	93	2.4	4.0	57	23	80
	機械システム工学科	68	17	187	220	407	182	128	310	71	23	94	2.6	5.6	70	17	87
	電気電子工学科	69	17	213	244	457	211	126	337	69	31	100	3.1	4.1	68	22	90
	都市工学科	61	15	164	211	375	156	105	261	63	27	90	2.5	3.9	58	18	76
小計	364	89	1,010	1,242	2,252	987	664	1,651	382	142	524	2.6	4.7	363	100	463	
農学部	応用生物科学科	25	10	77	102	179	77	50	127	32	10	42	2.4	5.0	31	8	39
	生物環境科学科	30	15	151	125	276	148	74	222	42	17	59	3.5	4.4	37	16	53
	生命機能科学科	30	5	103	91	194	98	47	145	35	5	40	2.8	9.4	33	4	37
	小計	85	30	331	318	649	323	171	494	109	32	141	3.0	5.3	101	28	129
合計		817	253	2,572	2,856	5,428	2,461	1,240	3,701	949	351	1,300	2.6	3.5	856	266	1,122

平成27年度 佐賀大学

学部	課程・学科、選修	募集人員		志願者 A			受験者 B			合格者 C			倍率(B/C)		入学者 D		
		前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計
文化教育教育学部	教育学選修	14	6	27	36	63	26	13	39	18	7	25	1.4	1.9	15	6	21
	教育心理学選修	6	3	15	47	62	15	22	37	7	4	11	2.1	5.5	7	4	11
	障害児教育選修	24	8	80	84	164	78	37	115	27	9	36	2.9	4.1	25	9	34
	教科教育選修	5	2	24	18	42	23	8	31	6	2	8	3.8	4.0	6	2	8
	理科選修	5	2	31	13	44	31	5	36	6	2	8	5.2	2.5	6	1	7
	音楽選修	3	-	6	-	6	6	-	6	3	-	3	2.0	-	3	-	3
	国際文化課程	40	14	97	159	256	94	63	157	46	18	64	2.0	3.5	43	16	59
	人間環境課程	35	9	93	143	236	90	64	154	42	12	54	2.1	5.3	36	8	44
	美術・工芸課程	19	7	58	77	135	57	36	93	22	7	29	2.6	5.1	22	5	27
	小計	151	51	431	577	1,008	420	248	668	177	61	238	2.4	4.1	163	51	214
経済学部	経済学科	70	20	166	246	412	157	60	217	102	20	122	1.5	3.0	77	12	89
	経営学科	30	20	76	119	195	72	43	115	44	40	84	1.6	1.1	26	25	51
	経済法学科	35	25	84	150	234	82	51	133	51	37	88	1.6	1.4	40	23	63
	小計	135	65	326	515	841	311	154	465	197	97	294	1.6	1.6	143	60	203
医学部	医学科	50	10	258	259	517	207	44	251	50	11	61	4.1	4.0	50	9	59
	看護学科	35	5	118	74	192	115	33	148	35	5	40	3.3	6.6	34	4	38
	小計	85	15	376	333	709	322	77	399	85	16	101	3.8	4.8	84	13	97
理工学部	数理学科	24	6	73	71	144	71	45	116	26	11	37	2.7	4.1	24	6	30
	物理学科	32	8	70	101	171	68	53	121	36	13	49	1.9	4.1	31	9	40
	知能情報システム学科	45	10	186	229	415	176	96	272	48	11	59	3.7	8.7	47	10	57
	機能物質化学科	62	16	139	324	463	136	141	277	63	54	117	2.2	2.6	58	33	91
	機械システム工学科	58	17	150	299	449	142	137	279	58	35	93	2.4	3.9	55	26	81
	電気電子工学科	60	22	204	346	550	195	163	358	60	47	107	3.3	3.5	54	37	91
	都市工学科	61	15	192	334	526	183	158	341	61	28	89	3.0	5.6	57	18	75
	小計	342	94	1,014	1,704	2,718	971	793	1,764	352	199	551	2.8	4.0	326	139	465
農学部	応用生物科学科	25	10	63	76	139	63	31	94	32	15	47	2.0	2.1	26	10	36
	生物環境科学科	30	15	127	103	230	120	57	177	39	15	54	3.1	3.8	36	11	47
	生命機能科学科	30	5	108	95	203	107	38	145	35	5	40	3.1	7.6	34	4	38
	小計	85	30	298	274	572	290	126	416	106	35	141	2.7	3.6	96	25	121
合計		798	255	2,445	3,403	5,848	2,314	1,398	3,712	917	408	1,325	2.5	3.4	812	288	1,100

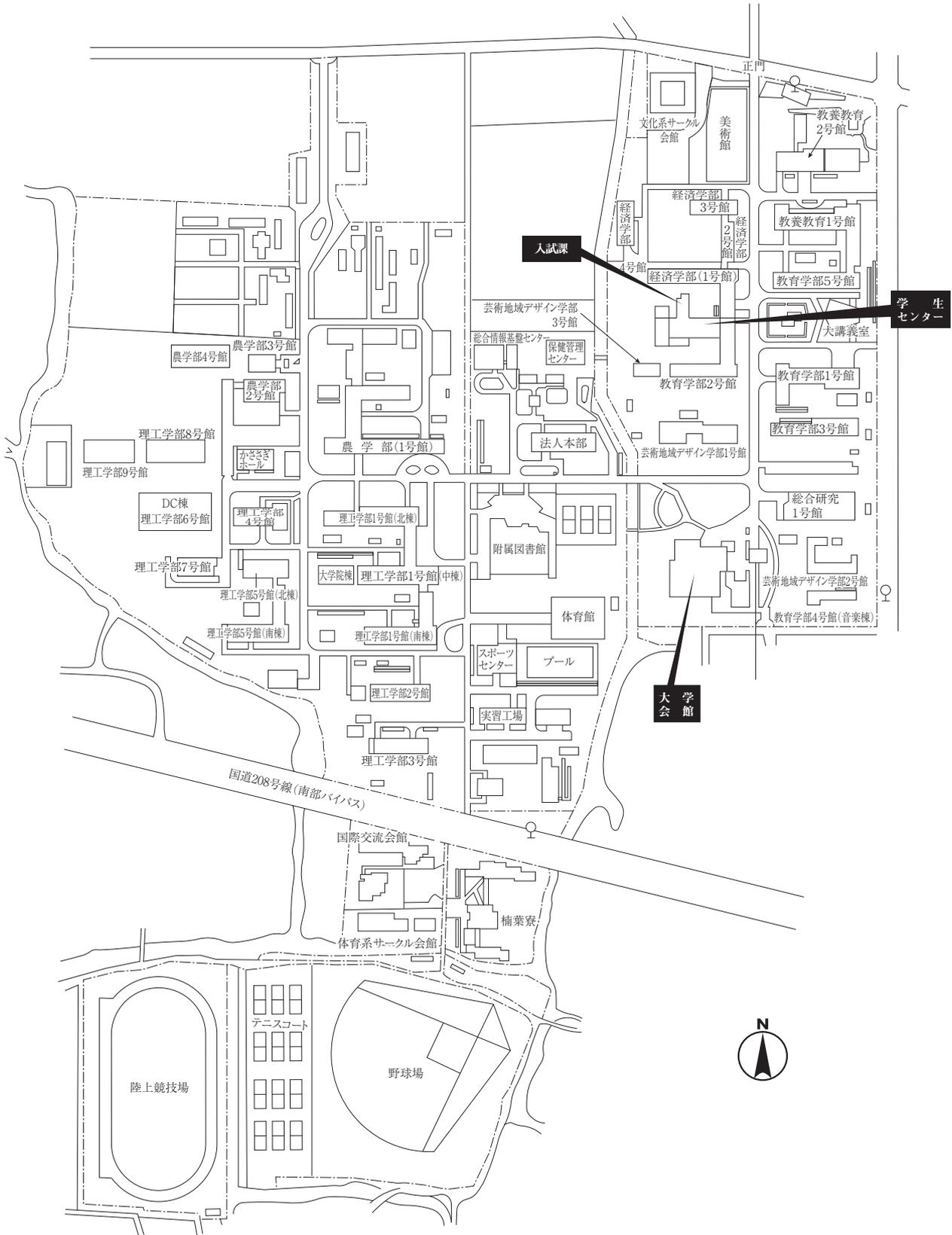
平成28年度 佐賀大学

学部	課程・学科等		募集人員		志願者 A			受験者 B			合格者 C			倍率(B/C)		入学者 D			
			前期 日程	後期 日程	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	前期	後期	計	
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース	15	5	58	53	111	56	27	83	18	6	24	3.1	4.5	17	5	22	
		小中連携教育コース	初等教育主免専攻	43	12	188	170	358	184	80	264	51	12	63	3.6	6.7	50	12	62
			中等教育主免専攻	12	5	43	50	93	42	16	58	14	7	21	3.0	2.3	13	6	19
	小計		70	22	289	273	562	282	123	405	83	25	108	3.4	4.9	80	23	103	
芸術地域デザイン学部	デザイン学科	芸術表現コース	33	12	97	109	206	95	51	146	38	16	54	2.5	3.2	31	15	46	
		地域デザインコース	25	15	115	149	264	114	100	214	29	22	51	3.9	4.5	27	17	44	
	小計		58	27	212	258	470	209	151	360	67	38	105	3.1	4.0	58	32	90	
経済学部	経済学科		70	20	169	251	420	165	77	242	91	27	118	1.8	2.9	71	16	87	
	経営学科		30	20	62	133	195	59	54	113	40	30	70	1.5	1.8	31	20	51	
	経済法学科		35	25	89	224	313	87	77	164	60	27	87	1.5	2.9	52	17	69	
	小計		135	65	320	608	928	311	208	519	191	84	275	1.6	2.5	154	53	207	
医学部	医学科		50	10	319	219	538	216	47	263	50	11	61	4.3	4.3	49	11	60	
	看護学科		35	5	76	72	148	72	29	101	36	7	43	2.0	4.1	33	6	39	
	小計		85	15	395	291	686	288	76	364	86	18	104	3.3	4.2	82	17	99	
理工学部	数理科学科		24	6	73	83	156	72	41	113	26	8	34	2.8	5.1	24	7	31	
	物理科学科		30	8	59	80	139	57	29	86	35	15	50	1.6	1.9	32	10	42	
	知能情報システム学科		45	10	116	144	260	113	59	172	50	17	67	2.3	3.5	47	12	59	
	機能物質化学科		62	16	130	254	384	117	97	214	62	43	105	1.9	2.3	53	28	81	
	機械システム工学科		58	17	134	239	373	126	108	234	60	32	92	2.1	3.4	52	24	76	
	電気電子工学科		60	22	135	389	524	127	165	292	61	36	97	2.1	4.6	54	29	83	
	都市工学科		61	15	163	327	490	157	157	314	61	26	87	2.6	6.0	60	16	76	
小計		340	94	810	1,516	2,326	769	656	1,425	355	177	532	2.2	3.7	322	126	448		
農学部	応用生物科学科		25	10	68	71	139	65	26	91	35	15	50	1.9	1.7	30	9	39	
	生物環境科学科		30	15	99	100	199	95	51	146	38	25	63	2.5	2.0	30	16	46	
	生命機能科学科		30	5	92	74	166	88	30	118	34	10	44	2.6	3.0	28	8	36	
	小計		85	30	259	245	504	248	107	355	107	50	157	2.3	2.1	88	33	121	
合計			773	253	2,285	3,191	5,476	2,107	1,321	3,428	889	392	1,281	2.4	3.4	784	284	1,068	

Ⅲ 佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

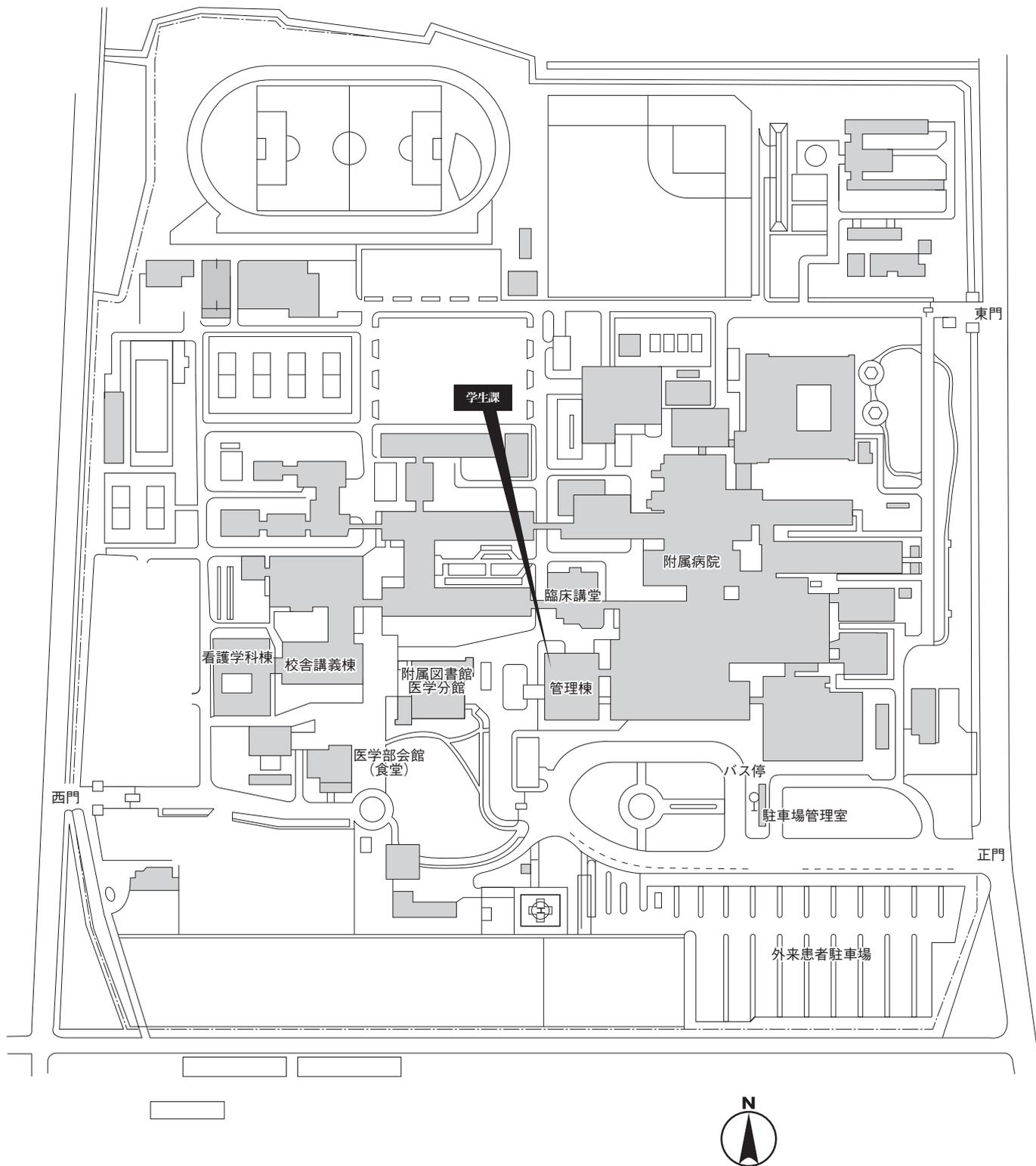
佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部，農学部]

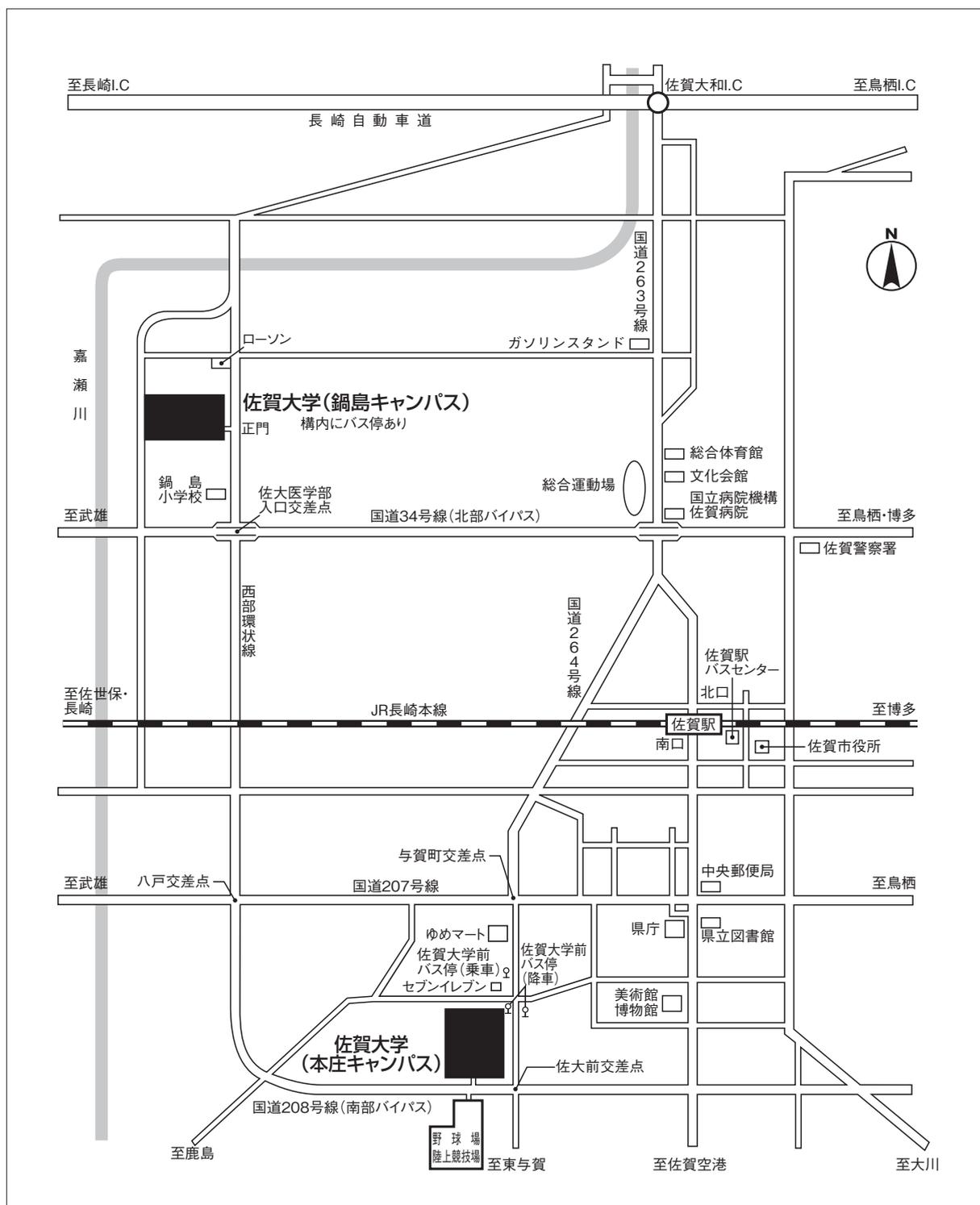


佐賀大学（鍋島キャンパス）配置図

[医学部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス〔4〕佐賀女子短大・高校線,〔11〕佐賀大学・西与賀線,〔12〕佐賀大学・東与賀線,〔4〕または〔63〕佐賀女子短大・高校線で約15分,「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

※試験当日は、佐賀市営バスによる臨時バスが運行予定です。(本庄キャンパスのみ)

問い合わせ先 佐賀市営バス TEL0952-23-3155

佐賀大学（鍋島キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター2番のりばから市営バス〔50〕神野公園・佐賀大学病院線,〔51〕卸センター・佐賀大学病院線で約25分,終点「佐賀大学病院」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約20分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/>

e - m a i l contact@mail.admin.saga-u.ac.jp